

平成 26 年
東京都工業指数年報

(平成 22 年基準)

平成 27 年 9 月



ま え が き

東京都では、都内の工業生産活動の動向を明らかにすることを目的として、業種別、用途別に生産指数、出荷指数及び在庫指数を毎月作成し、「東京都工業指数月報」として公表しています。

この「東京都工業指数月報」の平成26年1月から12月までの値について、最終数値とするため、年間補正及び季節調整を行った上で、「平成26年 東京都工業指数年報」として取りまとめました。

本年報が、各種行財政施策をはじめ、東京都における生産活動の分析や経済研究等の基礎資料として、各方面において広く御活用いただければ幸いです。

最後に、作成に当たり、資料の御提供を頂きました関係者の皆様に、心からお礼を申し上げます。

平成27年9月

東京都総務局統計部長

伊 東 みどり

目 次

利用上の注意

I 東京都工業指数の概要

東京都工業指数の概要	2
------------------	---

II 東京都の工業生産活動

1 平成 26 年における工業生産活動

(1) 生産指数の動向	8
(2) 出荷指数の動向	10
(3) 在庫指数の動向	12
(4) 生産指数（原指数）対前年比に対する主要業種別寄与度の推移	14
(5) 生産指数（四半期別、原指数）の推移	15
(6) 出荷－在庫バランスからみた景気動向	15
(7) 在庫循環図からみた景気動向	16

2 業種分類別の動向

(1) 鉄鋼業	17
(2) 非鉄金属工業	17
(3) 金属製品工業	18
(4) はん用機械工業	18
(5) 生産用機械工業	19
(6) 業務用機械工業	19
(7) 電子部品・デバイス工業	20
(8) 電気機械工業	20
(9) 情報通信機械工業	21
(10) 輸送機械工業	21
(11) 窯業・土石製品工業	22
(12) 化学工業	22
(13) プラスチック製品工業	23
(14) 紙・紙加工品工業	23
(15) 繊維工業	24
(16) 食料品工業	24
(17) 印刷業	25
(18) ゴム製品工業	25
(19) 皮革製品工業	26
(20) 家具工業	26
(21) 木材・木製品工業	27
(22) その他製品工業	27

3 特殊分類別の動向	
(1) 資本財	28
(2) 建設財	28
(3) 耐久消費財	29
(4) 非耐久消費財	29
(5) 鉱工業用生産財	30
(6) その他用生産財	30
4 東京都と全国の動向	
(1) 工業指数の年、四半期別推移	31
(2) 工業指数（季節調整済指数）の月別推移 （平成17年から平成26年まで）	34

III 統計表

1 業種分類別季節調整済指数	
(1) 生産指数（付加価値額ウェイト）	38
(2) 出荷指数（出荷額ウェイト）	40
(3) 在庫指数（在庫額ウェイト）	42
2 業種分類別原指数	
(1) 生産指数（付加価値額ウェイト）	44
(2) 出荷指数（出荷額ウェイト）	46
(3) 在庫指数（在庫額ウェイト）	48
3 特殊分類別季節調整済指数	
(1) 生産指数（付加価値額ウェイト）	50
(2) 出荷指数（出荷額ウェイト）	51
(3) 在庫指数（在庫額ウェイト）	52
4 特殊分類別原指数	
(1) 生産指数（付加価値額ウェイト）	53
(2) 出荷指数（出荷額ウェイト）	54
(3) 在庫指数（在庫額ウェイト）	55

IV 資料

1 業種分類、特殊分類別採用品目数	58
2 業種分類、特殊分類別ウェイト一覧表	61
3 業種分類、採用品目別ウェイト一覧表	64

利用上の注意

- 1 この「平成 26 年 東京都工業指数年報」は、平成 17 年以降の月別（季節調整済）の指数、平成 22 年以降の四半期別（季節調整済）・年別の指数、並びに平成 25 年及び 26 年の月別・四半期別の指数を集録したものである。
- 2 本書に掲載する指数の基準時及びウェイトの時期は、共に平成 22 年である。
- 3 時系列比較に用いた指数値は、平成 22 年基準による平成 22 年以降の指数値である。
- 4 指数値は、暦年、四半期及び月別に計算している。暦年、四半期の生産指数及び出荷指数は月別指数の平均値を、在庫指数は当該期末値（15 ページの図 9 及び表 4 においては月次指数の平均値）を、それぞれ用いている。
なお、四半期別のⅠ期（第 1 期）は 1～3 月期、Ⅱ期（第 2 期）は 4～6 月期、Ⅲ期（第 3 期）は 7～9 月期、Ⅳ期（第 4 期）は 10～12 月期である。
- 5 統計表中の符号等の用法は、次のとおりである。
[0.0] …………… 単位未満（0.05 未満）
[—] …………… 皆無又は該当数値なし
[△] …………… マイナスの数値
- 6 数値は、表示されている単位未満を四捨五入している。そのため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
- 7 用語について
 - (1) 年間補正は、月報集計後の確定データが 1 年間出揃った段階において指数の再計算を行い、月報により公表した指数を補正することをいう。
 - (2) 出荷指数、在庫指数は、それぞれ、生産者出荷指数、生産者製品在庫指数をいう。
 - (3) 断りのない場合、指数は「製造工業」の指数をいう。
 - (4) 前年比、前期比及び前年同期比は、それぞれ対前年、対前期及び対前年同期の上昇率を意味し、単位は％である。
 - (5) 前年比と前年同期比は原指数により算出し、前期比は季節調整済指数により算出している。
なお、在庫の増減率は、前年末比と前年同期末比が原指数を、前期末比が季節調整済指数を、それぞれ用いている。
 - (6) 寄与度は、特定の内訳の変化が全体をどれだけ変化させたかを表すもので、各内訳項目の寄与度の数値の合計は、全体の増減率に等しい。
- 8 特殊分類別の採用品目数は、1 品目を 2 財に分割している品目があるため、業種分類別の採用品目数よりも多い場合がある。
- 9 平成 12 年基準改定において鉱業を採用しないこととしたため、平成 15 年 7 月以降、名称を「東京都鉱工業指数」から「東京都工業指数」に変更した。

<問い合わせ先>

東京都総務局統計部産業統計課産業統計係
〒163-0920 東京都新宿区西新宿二丁目 3 番 1 号
新宿モノリス 20 階
電話 03-5388-2541（ダイヤルイン）

I 東京都工業指数の概要

東京都工業指数の概要

1 目的

東京都内の工業生産活動の動向を総合的かつ迅速に把握することを目的としている。

2 基準時

基準時は平成22年である。したがって、指数値は平成22年の平均を100.0とした比率で示されている。また、ウェイトも平成22年の産業構造によって作成している。

3 作成の範囲と分類

- (1) 日本標準産業分類大分類E「製造業」並びにF「電気・ガス・熱供給・水道業」の中分類33「電気業」及び34「ガス業」に属する産業の生産指数、出荷指数及び在庫指数について、原指数と季節調整済指数を作成している。

なお、経済産業省の鉱工業指数で採用されている大分類C「鉱業、採石業、砂利採取業」及びE「製造業」の中分類17「石油製品・石炭製品製造業」は、東京都ではウェイトが小さいため採用していない。

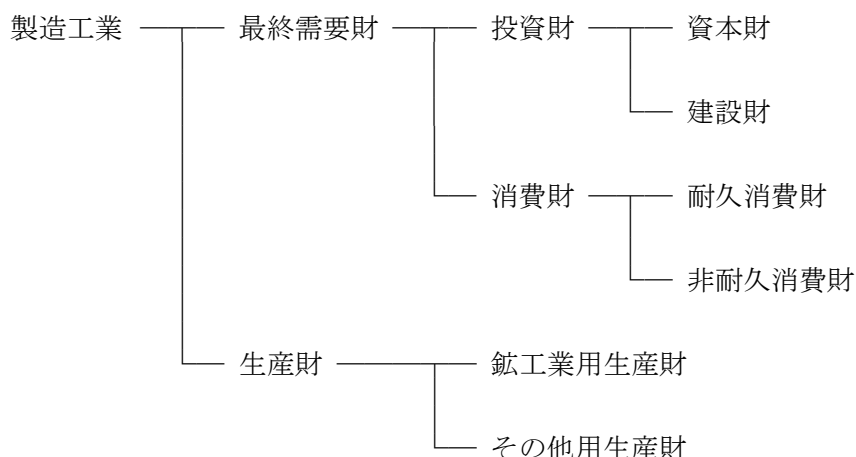
- (2) 分類は、業種分類と特殊分類の2つの分類による。

ア 業種分類については、日本標準産業分類の中分類に準拠しているが、一部組替えを行い22区分としている。このほか、生産指数及び出荷指数では、電気・ガス事業を加えて産業総合として示している。



(注) 網かけは、22業種を示す。

イ 特殊分類は、製造工業の採用品目をその用途により財別に組み替えたもので、構成は次のとおりである。なお、電気・ガス事業は含まれない。



特殊分類（財）の定義

分類	定義
最終需要財	鉱工業又は他の産業に原材料等として投入されない製品 ただし、建設財を含み、企業消費財を除く
投資財	資本財と建設財の合計
資本財	家計以外で購入される製品で、原則として想定耐用年数が1年以上で比較的購入単価が高いもの
建設財	建築工事用の資材及び建築物に対する内装品（建築用）と土木工事用の資材（土木用）の合計
消費財	家計で購入される製品（耐久消費財と非耐久消費財の合計）
耐久消費財	原則として想定耐用年数が1年以上で比較的購入単価が高いもの
非耐久消費財	原則として想定耐用年数が1年未満又は比較的購入単価が低いもの
生産財	鉱工業及び他の産業に原材料等として投入される製品 ただし、企業消費財を含み、建設財を除く
鉱工業用生産財	鉱工業の生産工程に原材料、燃料、部品、容器、消耗品、工具等として再投入される製品
その他用生産財	非鉱工業の原材料、燃料、容器、消耗品及び企業消費財

（経済産業省の特殊分類の定義から抜粋）

4 採用品目

採用品目は、各業種、財ごとに代表性を考慮し選定している。

生産指数及び出荷指数の採用品目数は176品目、在庫指数は85品目である。在庫指数については、受注製品等で在庫を把握する必要がない品目や在庫の把握が極めて困難などの理由から数値が得られない品目があることから、生産指数及び出荷指数より少ない。

また、業種分類と特殊分類では採用品目数が一致しない。これは、用途が2つ以上の財にまたがる18品目については、基準時の用途別構成でウェイトを分割することにより複数の系列として取り扱っているためである。

なお、採用品目のうち経済産業省所管品目は、生産動態統計調査から月々の実績系列を求め（生産指数、出荷指数176品目のうち163品目）、それ以外の品目は業界団体等から実績系列の提供を受けている。

5 算式

算式は、基準年次の固定ウェイトで加重平均するラスパイレス算式である。

(算式)

$$\text{総合指数} = \frac{\left(\frac{\text{品目の比較時数量}}{\text{品目の基準時数量}} \times \text{品目の基準時ウェイト} \right) \text{の合計}}{\text{基準時ウェイトの合計}} \times 100$$

6 ウェイト

ウェイトの算定に当たっては「平成22年工業統計調査」を中心に、「生産動態統計調査」の結果などを基礎資料として使用している。具体的な内容は次のとおりである。

(1) 生産指数のウェイト

工業統計調査による産業別付加価値額を基礎として算定しており、基準年次の付加価値額でみた各業種分類、各特殊分類及び各品目の製造工業に対する比率（1万分比）で示している。

(2) 出荷指数のウェイト

工業統計調査による出荷額を用いて算定しており、基準年次の生産者出荷額でみた各業種分類、各特殊分類及び各品目の製造工業に対する比率（1万分比）で示している。

(3) 在庫指数のウェイト

工業統計調査による在庫額を用いて算定しており、基準年次の生産者製品在庫額でみた各業種分類、各特殊分類及び各品目の製造工業に対する比率（1万分比）で示している。

(4) ウェイトの算定について

各業種分類別のウェイトを算定し、次いで各業種分類の特殊分類別構成比によって各業種分類ごとの特殊分類ウェイトを算定している。

7 季節調整

季節調整は、景気の動向にかかわらず、1年を通してほぼ規則的に繰り返す季節的な変動要素（気候条件の変化や社会的な慣習、制度等）を取り除くために行っている。

具体的には、米国センサス局が開発したセンサス局法のX-12-ARIMA (Ver. 0.2.10) を使用して、平成19年1月から平成26年12月までの8年間の原指数から典型的な季節変動のパターンである季節指数を算出し、平成26年1月以降について原指数を季節指数で除すことで季節調整済指数を算出している。

季節調整済指数は、主に短期的な動向（前月比、前期比）をみるのに利用され、原指数は長期的な動向（前年比、前年同月比、前年同期比）をみるのに利用されている。

8 過去の時系列指数の再計算

「東京都工業指数」では、平成22年基準の指数について、平成17年1月まで遡及して基

礎データから再計算を行い、時系列（月次）の指数を作成し、東京都ホームページで公表している。

一方、平成16年12月以前については、便宜的に、平成17年1月から3月までの時点で平成17年基準と平成22年基準との接続^(注)を行い、参考値として平成7年1月まで遡って時系列の指数（接続指数）を作成し、東京都ホームページで公表している。

(注) 平成7年1月から平成16年12月までの接続指数は、この期間の平成17年基準の指数に接続係数を乗じる方法で作成している（接続係数の算出方法は以下のとおり）。

$$\text{接続係数} = \frac{\text{平成22年基準の平成17年1～3月平均指数（季節調整済）}}{\text{平成17年基準の平成17年1～3月平均指数（季節調整済）}}$$

なお、接続指数は、便宜的に平成17年基準の指数に接続係数を乗じて平成22年基準の指数水準に修正しているものであり、平成17年基準と平成22年基準それぞれの採用品目やウェイトの違いなどは考慮されていない。このため、接続指数はあくまで参考値としての利用にとどめるなど、長期間にわたる比較の際には注意が必要である。

9 その他

全国の指数は、経済産業省大臣官房調査統計グループの「鉱工業指数（生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数）」によった。

経済産業省ホームページ URL：http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/b2010_result-2.html

II 東京都の工業生産活動

1 平成 26 年における工業生産活動

(1) 生産指数の動向

生産指数(原指数)は、前年比 1.7%上昇
 四半期別(季節調整済指数)では、第1四半期は上昇し、その後は連続して低下

平成 26 年の生産指数(原指数)は、103.9 で前年比 1.7%の上昇となった。

業種別の前年比で見ると、業務用機械工業(19.2%)、生産用機械工業(17.6%)など 13 業種が上昇となった。一方、皮革製品工業(△12.5%)、木材・木製品工業(△11.4%)など 9 業種が低下となった。

寄与度で見ると、生産用機械工業(0.8%)、業務用機械工業(0.6%)、輸送機械工業(0.6%)などが主な上昇要因であった。

平成 26 年の四半期別指数(季節調整済指数)は、第 1 四半期は上昇し、第 2 四半期以後は 3 期連続低下となった。

(図 1、図 2、表 1)

図 1 生産指数の推移(平成 22 年平均=100.0)

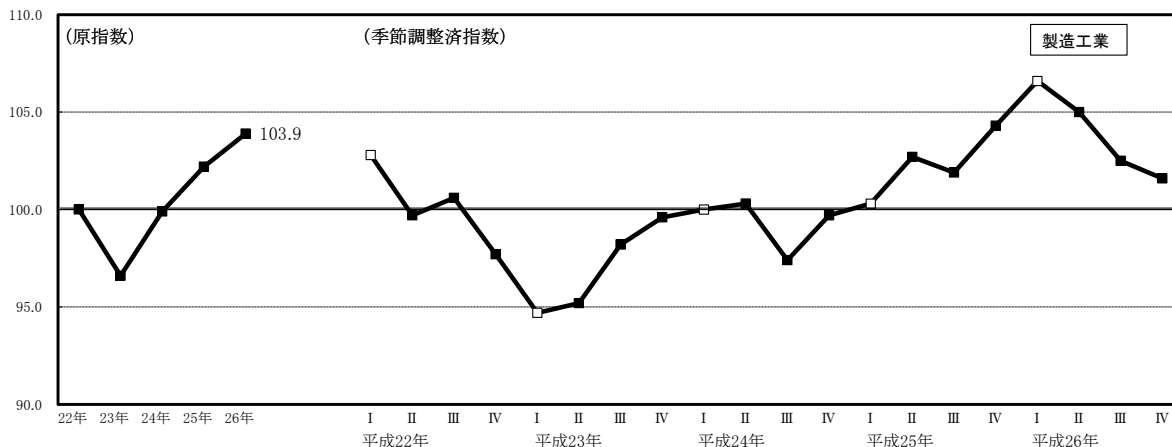


図 2 平成 26 年の生産指数(原指数)対前年比の業種分類別寄与度

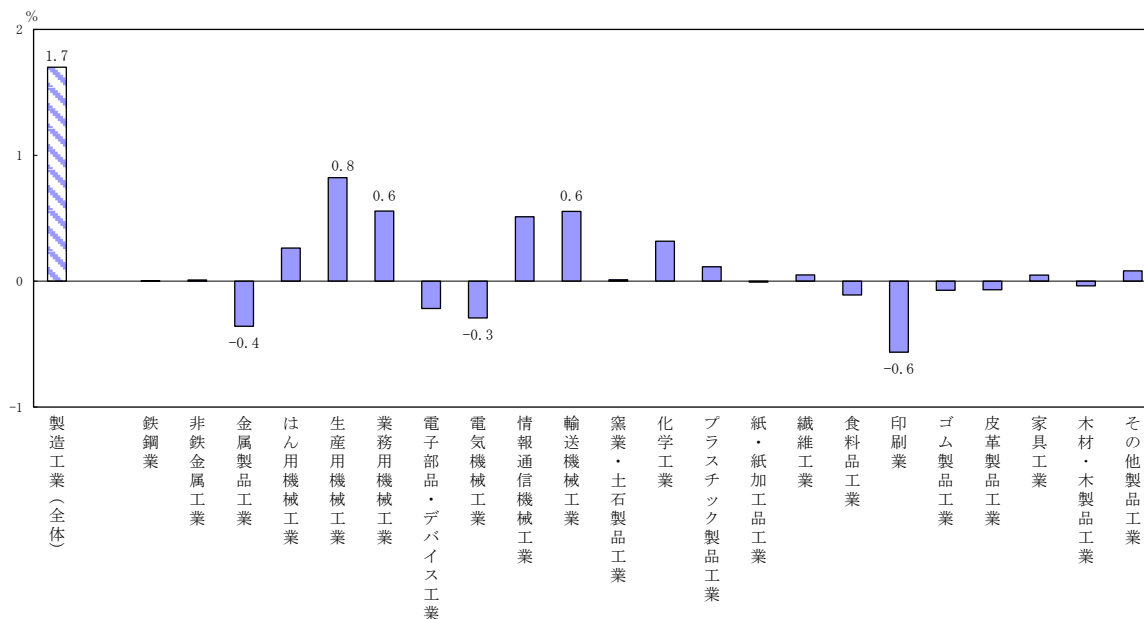


表1 業種分類別及び特殊分類別生産指数

区 分	原指数				季節調整済指数			
	平成25年	平成26年	前年比	寄与度	平成26年			
					I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
(業種分類別)			%	%				
製造工業(全体)	102.2	103.9	1.7	1.7	106.6	105.0	102.5	101.6
鉄鋼業	92.5	92.6	0.1	0.0	96.2	90.7	91.2	92.9
非鉄金属工業	70.7	71.6	1.3	0.0	71.2	69.6	69.8	76.0
金属製品工業	107.2	95.7	△ 10.7	△ 0.4	103.6	99.8	92.1	86.8
はん用・生産用・業務用機械工業	79.0	91.1	15.3	1.6	92.5	86.9	91.3	92.6
はん用機械工業	112.2	121.9	8.6	0.3	121.4	122.0	121.9	122.1
生産用機械工業	76.9	90.4	17.6	0.8	95.6	78.8	93.8	94.2
業務用機械工業	62.1	74.0	19.2	0.6	76.9	77.2	67.8	73.7
電子部品・デバイス工業	91.8	87.2	△ 5.0	△ 0.2	95.0	91.0	84.1	81.0
電気機械工業	98.7	96.4	△ 2.3	△ 0.3	98.2	93.5	98.1	95.7
情報通信機械工業	123.7	131.2	6.1	0.5	146.3	143.0	111.9	122.1
輸送機械工業	136.7	140.8	3.0	0.6	137.3	138.9	144.0	143.1
窯業・土石製品工業	95.9	96.6	0.7	0.0	95.2	95.8	97.4	97.8
化学工業	122.7	126.4	3.0	0.3	129.6	138.8	124.0	113.4
プラスチック製品工業	98.2	104.6	6.5	0.1	107.0	110.6	103.5	96.7
紙・紙加工品工業	92.2	91.3	△ 1.0	△ 0.0	92.4	91.2	89.6	92.5
繊維工業	94.8	99.3	4.7	0.1	97.4	102.5	99.4	97.8
食料品工業	104.6	103.0	△ 1.5	△ 0.1	101.4	107.0	102.0	101.6
印刷業	92.7	88.5	△ 4.5	△ 0.6	90.5	85.6	88.8	89.3
その他工業	71.0	70.3	△ 1.0	△ 0.0	72.4	69.2	71.3	67.7
ゴム製品工業	39.6	36.5	△ 7.8	△ 0.1	35.8	37.1	38.8	34.2
皮革製品工業	70.4	61.6	△ 12.5	△ 0.1	67.9	65.4	58.8	54.1
家具工業	90.5	94.4	4.3	0.0	97.7	98.8	87.7	85.5
木材・木製品工業	116.7	103.4	△ 11.4	△ 0.0	113.1	107.5	100.9	92.8
その他製品工業	89.8	94.1	4.8	0.1	86.2	90.2	100.9	96.7
(参考系列)								
電気・ガス事業	119.0	101.0	△ 15.1	-	111.9	110.1	92.6	90.9
産業総合(製造工業、電気・ガス事業)	102.5	103.8	1.3	-	106.6	105.2	102.3	101.5
(特殊分類別)								
製造工業(全体)	102.2	103.9	1.7	1.7	106.6	105.0	102.5	101.6
最終需要財	106.4	109.5	2.9	1.8	112.6	111.7	107.8	106.4
投資財	106.2	112.9	6.3	2.4	113.5	111.1	112.9	114.4
資本財	104.7	111.8	6.8	2.3	112.4	110.0	111.7	113.6
建設財	121.2	123.5	1.9	0.1	123.7	123.2	123.8	123.6
消費財	106.7	104.2	△ 2.3	△ 0.6	110.6	110.9	101.1	94.7
耐久消費財	91.6	86.2	△ 5.9	△ 0.5	98.2	90.7	80.0	75.3
非耐久消費財	117.9	117.5	△ 0.3	△ 0.0	119.4	127.1	115.4	108.2
生産財	96.0	95.4	△ 0.6	△ 0.2	97.0	95.4	94.7	94.9
鉱工業用生産財	96.7	100.0	3.4	0.7	102.2	100.5	99.3	98.6
その他用生産財	95.0	89.9	△ 5.4	△ 0.9	92.5	89.0	88.8	89.6

注1) 網かけは、22業種を示す。

2) 寄与度の合計と製造工業の前年比は、四捨五入のために一致しないことがある。

(2) 出荷指数の動向

出荷指数(原指数)は、前年比 0.3%上昇
 四半期別(季節調整済指数)では、第1四半期に上昇し、その後は連続して低下

平成26年の出荷指数(原指数)は、100.7で前年比0.3%の上昇となった。
 業種別の前年比でみると、生産用機械工業(18.7%)、はん用機械工業(7.7%)など10業種で
 上昇となった。一方、金属製品工業(△10.9%)、木材・木製品工業(△8.3%)など12業種が低
 下となった。
 寄与度でみると、生産用機械工業(0.7%)、情報通信機械工業(0.6%)などが主な上昇要因で
 あった。
 平成26年の四半期別指数(季節調整済指数)は、第1四半期は上昇し、第2四半期以後は3期
 連続低下となった。

(図3、図4、表2)

図3 出荷指数の推移(平成22年平均=100.0)

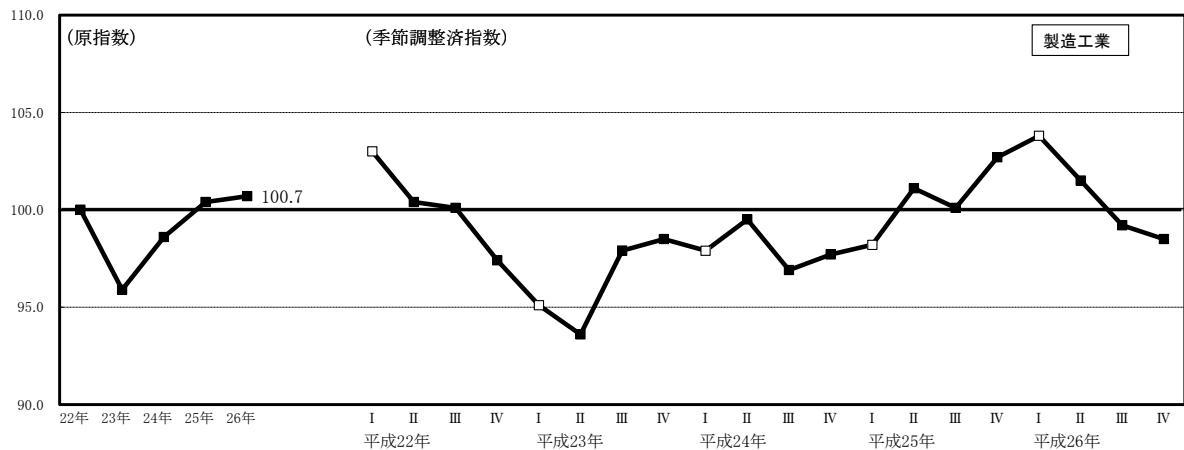


図4 平成26年の出荷指数(原指数)対前年比の業種分類別寄与度

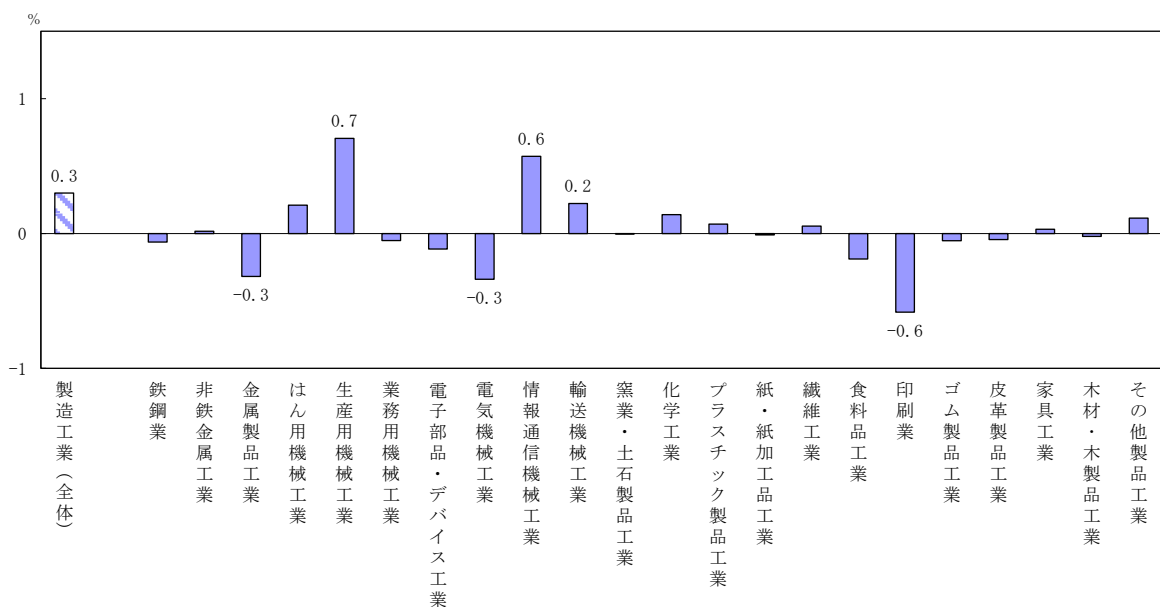


表2 業種分類別及び特殊分類別出荷指数

区 分	原指数				季節調整済指数			
	平成25年	平成26年	前年比	寄与度	平成26年			
					I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
(業種分類別)			%	%				
製造工業(全体)	100.4	100.7	0.3	0.3	103.8	101.5	99.2	98.5
鉄鋼業	96.7	93.5	△ 3.3	△ 0.1	99.7	90.6	91.3	93.0
非鉄金属工業	69.1	70.3	1.7	0.0	68.3	68.8	69.3	75.1
金属製品工業	103.1	91.9	△ 10.9	△ 0.3	100.2	94.5	88.2	84.8
はん用・生産用・業務用機械工業	77.3	84.6	9.4	0.9	89.3	79.3	84.4	84.6
はん用機械工業	107.7	116.0	7.7	0.2	116.0	116.3	114.8	117.0
生産用機械工業	72.7	86.3	18.7	0.7	91.1	74.8	89.9	90.1
業務用機械工業	64.2	62.9	△ 2.0	△ 0.1	73.1	60.3	57.6	59.4
電子部品・デバイス工業	94.9	92.8	△ 2.2	△ 0.1	96.5	96.1	89.7	90.3
電気機械工業	96.8	94.2	△ 2.7	△ 0.3	96.4	91.0	96.4	92.7
情報通信機械工業	115.8	121.6	5.0	0.6	133.1	135.2	105.0	114.6
輸送機械工業	128.0	129.4	1.1	0.2	128.4	128.1	133.4	128.2
窯業・土石製品工業	99.4	99.2	△ 0.2	△ 0.0	97.7	97.8	100.3	101.1
化学工業	118.0	120.6	2.2	0.1	125.6	131.6	116.7	108.9
プラスチック製品工業	91.5	94.7	3.5	0.1	96.8	96.8	94.4	90.4
紙・紙加工品工業	92.7	91.5	△ 1.3	△ 0.0	93.0	90.0	90.5	92.1
繊維工業	97.2	103.4	6.4	0.1	102.0	104.7	104.7	101.9
食料品工業	103.1	100.2	△ 2.8	△ 0.2	99.6	103.9	99.6	97.8
印刷業	92.6	88.4	△ 4.5	△ 0.6	90.4	85.5	88.6	89.2
その他工業	73.7	74.1	0.5	0.0	76.1	72.1	74.7	72.9
ゴム製品工業	39.7	36.5	△ 8.1	△ 0.1	37.1	35.7	38.4	35.0
皮革製品工業	73.8	68.0	△ 7.9	△ 0.0	75.0	68.7	65.9	58.8
家具工業	89.6	92.3	3.0	0.0	94.6	96.0	86.9	83.6
木材・木製品工業	116.1	106.5	△ 8.3	△ 0.0	115.2	106.3	103.7	99.2
その他製品工業	85.0	89.5	5.3	0.1	83.5	84.9	94.0	94.1
(参考系列)								
電気・ガス事業	118.8	101.1	△ 14.9	-	112.0	110.1	92.9	91.1
産業総合(製造工業、電気・ガス事業)	100.8	100.7	△ 0.1	-	103.9	101.7	99.1	98.4
(特殊分類別)								
製造工業(全体)	100.4	100.7	0.3	0.3	103.8	101.5	99.2	98.5
最終需要財	103.2	104.3	1.1	0.6	108.0	105.7	102.7	101.1
投資財	104.8	110.1	5.1	1.9	111.5	108.7	109.5	111.5
資本財	104.1	109.9	5.6	1.9	111.3	108.6	109.3	111.3
建設財	111.5	111.8	0.3	0.0	113.1	109.7	111.7	113.2
消費財	100.5	94.6	△ 5.9	△ 1.3	102.5	99.1	91.3	85.8
耐久消費財	94.4	86.6	△ 8.3	△ 1.0	97.9	88.5	82.8	77.2
非耐久消費財	108.1	104.6	△ 3.2	△ 0.3	108.6	112.7	101.6	96.0
生産財	96.5	96.2	△ 0.3	△ 0.1	98.3	95.7	95.3	95.7
鉱工業用生産財	98.2	101.3	3.2	0.8	103.1	101.1	100.8	100.7
その他用生産財	94.0	88.6	△ 5.7	△ 0.9	91.1	87.8	87.7	88.2

注1) 網かけは、22業種を示す。

2) 寄与度の合計と製造工業の前年比は、四捨五入のために一致しないことがある。

(3) 在庫指数の動向

在庫指数(原指数)は、前年末比 0.8%低下
 四半期別(季節調整済指数)では、第1、3四半期に上昇、第2、4四半期に低下

平成 26 年の在庫指数(原指数)は、119.1 で前年末比 0.8%の低下となった。

業種別の前年末比で見ると、はん用機械工業(△72.9%)、その他製品工業(△72.4%)など15業種が低下となった。一方、生産用機械工業(79.1%)、輸送機械工業(26.9%)など6業種が上昇となった。

寄与度で見ると、その他製品工業(△2.9%)、業務用機械工業(△2.4%)、繊維工業(△1.7%)などが主な低下要因であった。

平成26年の四半期別指数(季節調整済指数)は、第1、3四半期に上昇、第2、4四半期に低下となった。

(図5、図6、表3)

図5 在庫指数の推移(平成22年平均=100.0)

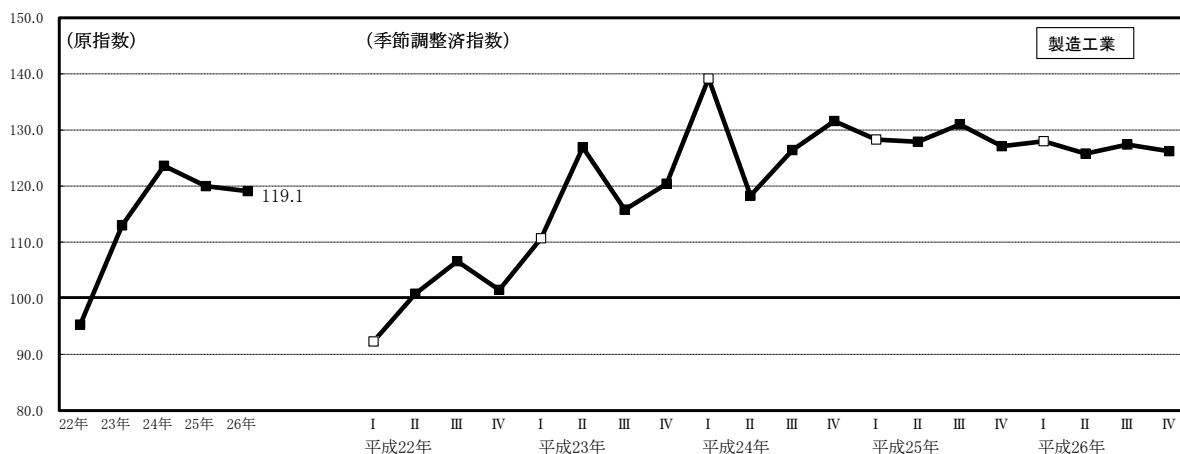


図6 平成26年の在庫指数(原指数) 対前年末比の業種分類別寄与度

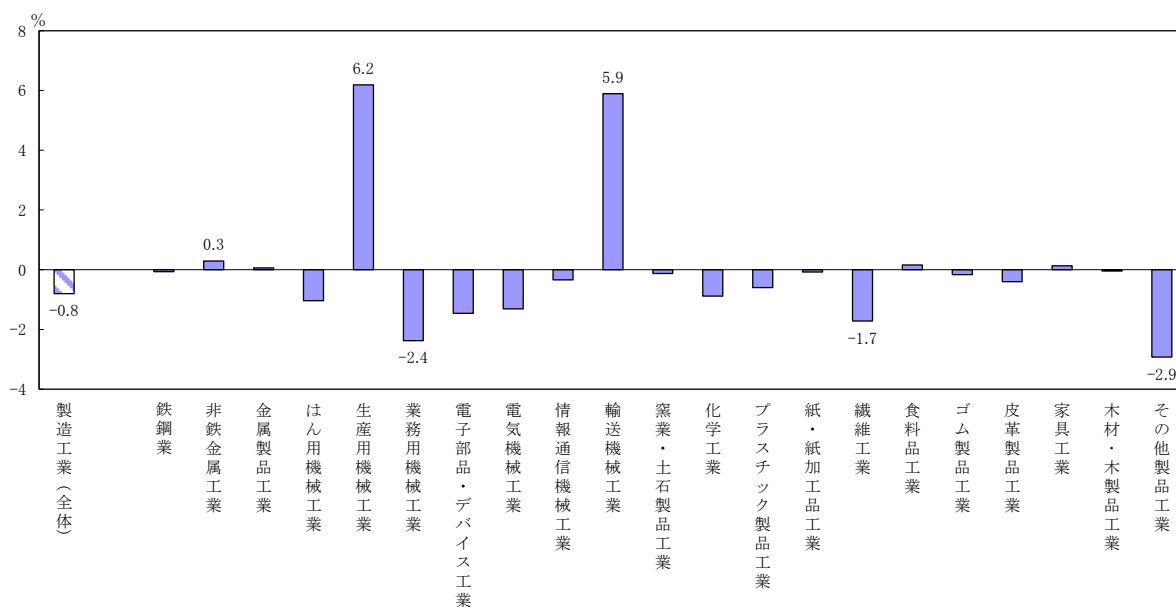


表3 業種分類別及び特殊分類別在庫指数

区 分	原指数				季節調整済指数			
	平成25年	平成26年	前年比	寄与度	平成26年			
					I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
(業種分類別)			%	%				
製造工業(全体)	120.0	119.1	△ 0.8	△ 0.8	128.0	125.8	127.4	126.2
鉄鋼業	83.5	80.4	△ 3.7	△ 0.1	74.8	72.9	76.0	78.0
非鉄金属工業	131.3	143.0	8.9	0.3	139.8	140.8	142.6	144.6
金属製品工業	46.3	47.9	3.5	0.1	48.9	50.7	53.4	49.2
はん用・生産用・業務用機械工業	121.3	136.0	12.1	2.8	134.0	129.9	137.7	133.9
はん用機械工業	86.6	23.5	△ 72.9	△ 1.0	86.0	94.4	103.1	28.5
生産用機械工業	132.3	236.9	79.1	6.2	221.5	183.3	227.8	249.8
業務用機械工業	120.5	99.4	△ 17.5	△ 2.4	94.6	105.7	84.7	91.6
電子部品・デバイス工業	89.6	32.8	△ 63.4	△ 1.5	68.3	47.0	50.9	33.8
電気機械工業	89.2	66.0	△ 26.0	△ 1.3	80.2	72.1	72.8	69.6
情報通信機械工業	185.8	182.4	△ 1.8	△ 0.3	154.7	153.4	171.0	196.5
輸送機械工業	189.8	240.9	26.9	5.9	291.4	261.9	255.0	277.3
窯業・土石製品工業	82.7	78.0	△ 5.7	△ 0.1	80.7	80.4	81.4	78.9
化学工業	105.3	89.2	△ 15.3	△ 0.9	99.7	97.7	92.4	93.3
プラスチック製品工業	72.9	58.1	△ 20.3	△ 0.6	71.9	75.3	67.7	60.2
紙・紙加工品工業	89.4	82.4	△ 7.8	△ 0.1	88.0	90.9	89.6	85.0
織維工業	174.5	59.1	△ 66.1	△ 1.7	154.7	131.1	93.7	61.7
食料品工業	58.0	72.3	24.7	0.2	130.5	91.8	99.3	105.8
その他工業	70.3	37.5	△ 46.7	△ 3.4	67.8	72.4	67.1	41.8
ゴム製品工業	17.5	13.1	△ 25.1	△ 0.2	12.4	19.0	21.0	20.2
皮革製品工業	72.5	53.8	△ 25.8	△ 0.4	58.1	61.7	52.4	50.2
家具工業	84.2	98.7	17.2	0.1	101.2	105.4	95.7	107.0
木材・木製品工業	95.7	79.0	△ 17.5	△ 0.0	84.7	95.8	92.6	78.1
その他製品工業	122.3	33.8	△ 72.4	△ 2.9	128.5	133.6	120.4	34.0
(特殊分類別)								
製造工業(全体)	120.0	119.1	△ 0.8	△ 0.8	128.0	125.8	127.4	126.2
最終需要財	122.2	124.4	1.8	1.4	134.8	131.8	134.9	132.5
投資財	164.9	185.3	12.4	7.6	188.3	188.1	192.0	193.6
資本財	179.1	204.8	14.3	8.4	207.6	207.0	210.7	214.2
建設財	64.2	46.6	△ 27.4	△ 0.7	54.1	60.2	57.5	47.7
消費財	75.3	57.7	△ 23.4	△ 5.1	78.5	73.0	74.1	64.1
耐久消費財	78.8	58.1	△ 26.3	△ 3.2	86.5	80.3	83.0	67.5
非耐久消費財	70.8	57.1	△ 19.4	△ 1.8	68.4	65.0	62.5	59.6
生産財	102.5	82.8	△ 19.2	△ 3.6	97.9	93.4	90.0	85.6
鉱工業用生産財	102.3	81.2	△ 20.6	△ 3.7	95.9	91.8	87.8	83.2
その他用生産財	108.3	129.9	19.9	0.1	146.4	133.5	157.5	168.9

注1) 網かけは、21業種を示す。

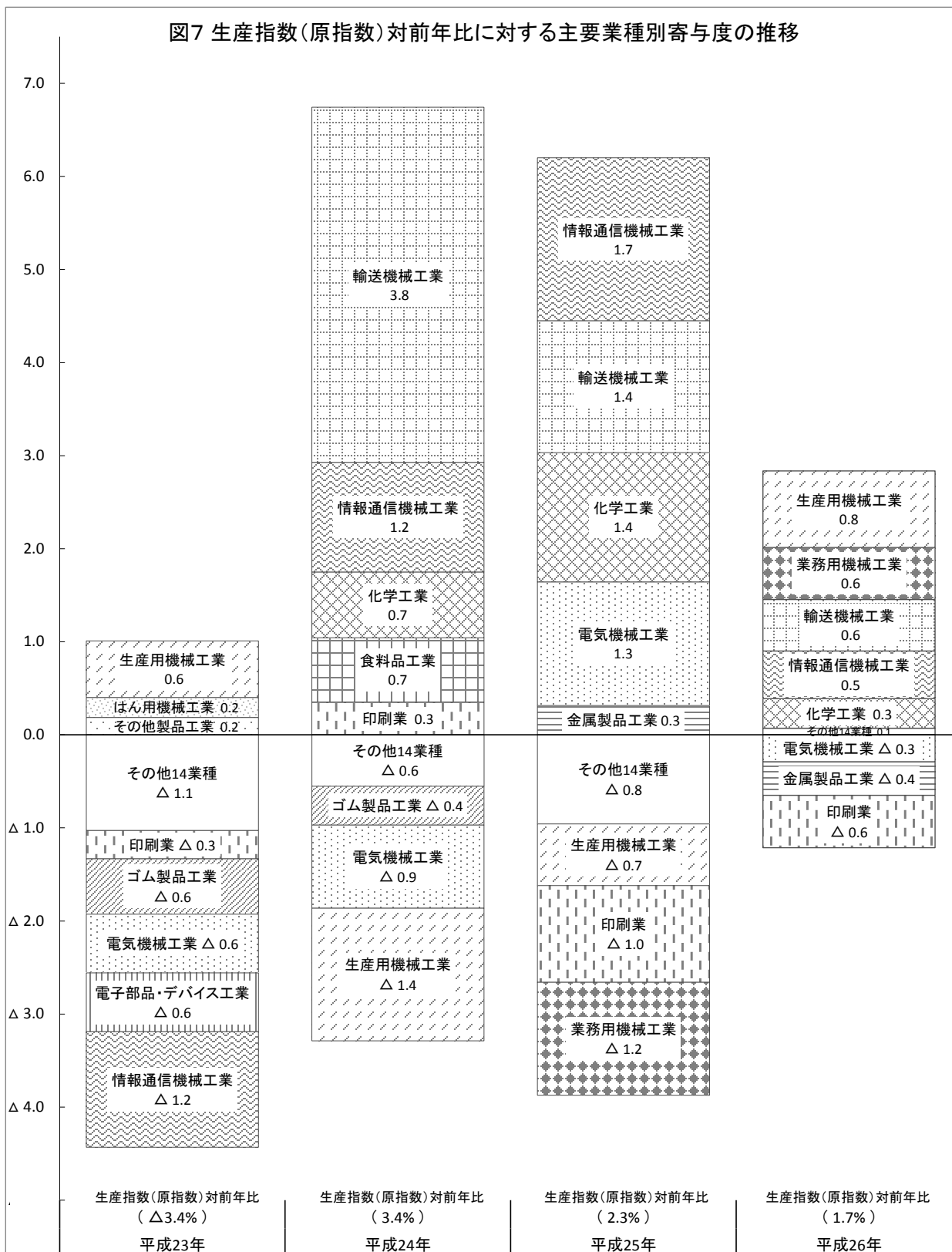
2) 暦年の値は当該年末値、四半期別の値は当該期末値である。

3) 寄与度の合計と製造工業の前年比は、四捨五入のために一致しないことがある。

(4) 生産指数(原指数)対前年比に対する主要業種別寄与度の推移

平成23年からの生産指数(原指数)対前年比に対する寄与度の大きい業種をみると、輸送機械工業、情報通信機械工業、化学工業が平成24年から連続して上昇に寄与している。生産用機械工業は、平成24、25年には低下に寄与していたが、平成26年には上昇への寄与に転じた。

一方、印刷業は平成24年を除く毎年、電気機械工業は平成25年を除く毎年、低下に寄与している。(図7)



注1) 各年において、最も上昇(平成23年は低下)に寄与した5業種と、最も低下(平成23年は上昇)に寄与した3業種のみ業種名を明示している。「その他14業種」は明示した業種以外の業種を合計している。

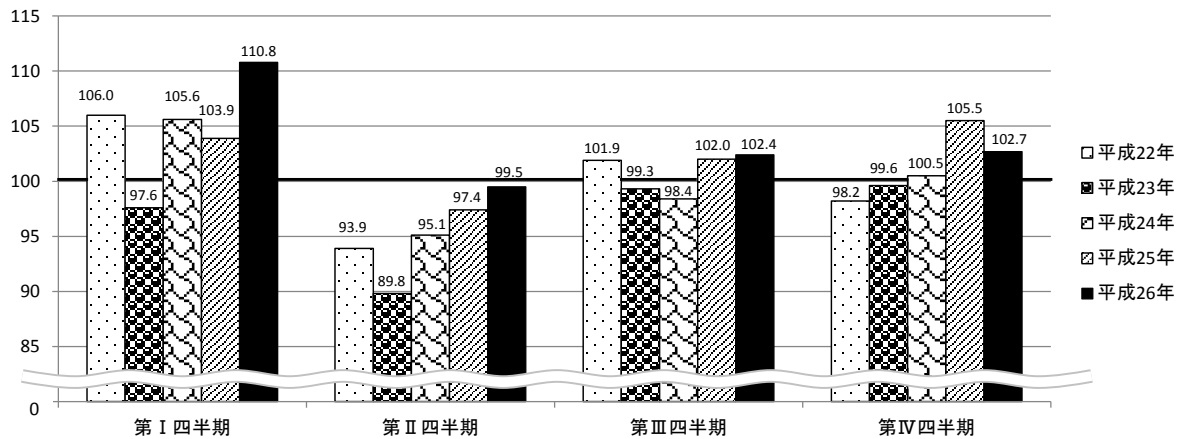
2) 生産指数(原指数)対前年比とは、直前の年の生産指数(原指数)と比べて、当該年の生産指数(原指数)がどのくらい上昇・低下したかを示すものである。

3) 寄与度の合計と全体の前年比は、四捨五入のため一致しないことがある。

(5) 生産指数(四半期別、原指数)の推移

平成22年から5年間の各年の生産指数(原指数)を四半期別にみると、平成26年第1～3四半期はそれ以前の年を上回ったが、同年第4四半期は前年同期の平成25年第4四半期を下回った。(図8)

図8 生産指数(原指数、四半期別)の推移(製造工業)



(6) 出荷－在庫バランスからみた景気動向

四半期別に出荷と在庫の前年同期比の差である出荷－在庫バランスでみると、平成25年第1四半期から平成26年第1四半期まで上昇傾向を示した後、平成26年第4四半期まで3期連続で低下した。(図9、表4)

図9 出荷－在庫バランス(製造工業)

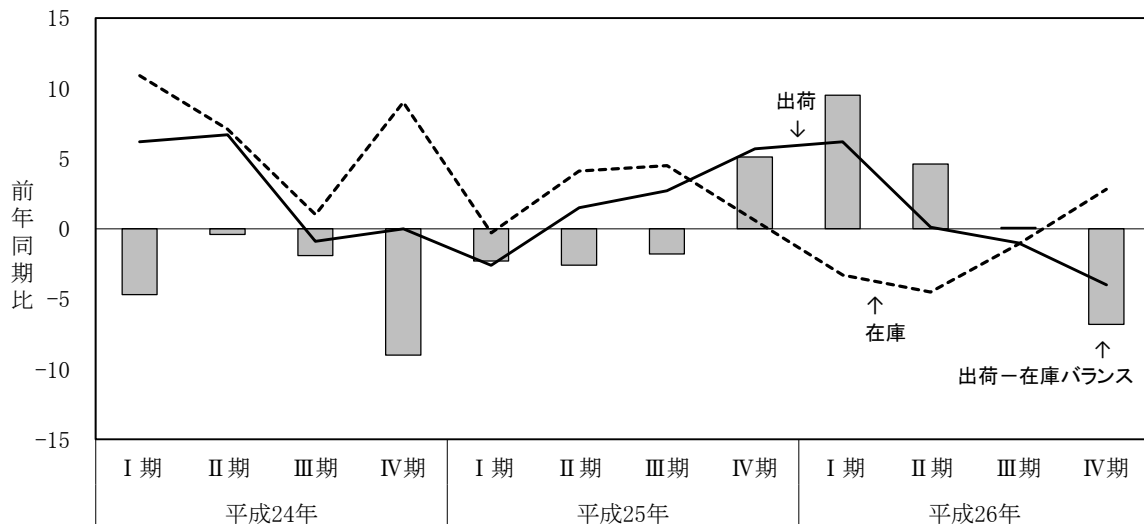


表4 出荷指数と在庫指数等の推移

項目	平成24年	平成25年	平成26年	平成24年				平成25年				平成26年			
				I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
(出荷指数)	98.6	100.4	100.7	105.1	93.4	97.7	98.4	102.4	94.8	100.3	104.0	108.8	94.9	99.3	99.8
前年・前年同期比a	2.8	1.8	0.3	6.2	6.7	△0.9	0.0	△2.6	1.5	2.7	5.7	6.2	0.1	△1.0	△4.0
(在庫指数)	126.8	129.6	127.6	129.4	123.4	127.3	127.1	129.0	128.5	133.0	127.8	124.8	122.7	131.6	131.4
前年・前年同期比b	6.9	2.2	△1.5	10.9	7.1	1.0	9.0	△0.3	4.1	4.5	0.6	△3.3	△4.5	△1.1	2.8
出荷-在庫バランスa-b	△4.1	△0.4	1.8	△4.7	△0.4	△1.9	△9.0	△2.3	△2.6	△1.8	5.1	9.5	4.6	0.1	△6.8

- 注1) 年指数、四半期指数ともに、原指数である。
 注2) 出荷指数、在庫指数ともに、各期、各年の平均値である。
 注3) 出荷－在庫バランス(＝出荷の前年同期比－在庫の前年同期比)は景気の先行き予測に利用される。
 ・プラス幅の拡大は在庫水準の低下・生産活動活発化の必要性(景気回復)を示す。
 ・マイナス幅の拡大は在庫水準の上昇・生産調整の必要性(景気悪化)を示す。

(7) 在庫循環図からみた景気動向

生産指数と在庫指数の推移を在庫循環図で見ると、平成24年は、第1期で「在庫積み上がり局面」、第2期は「意図せざる在庫減局面」に移動し、第3・4四半期は、再び「在庫積み上がり局面」に移動した。

平成25年は、第1期で「意図せざる在庫減局面」に移動した後、第2・3期は「在庫積み上がり局面」、第4期は「在庫積み増し局面」で推移した。

平成26年は、第1期で「在庫積み増し局面」とどまった後、第2・3期は「意図せざる在庫減局面」、第4期は「在庫調整局面」で推移した。

(図10、表5)

図10 在庫循環図(製造工業)

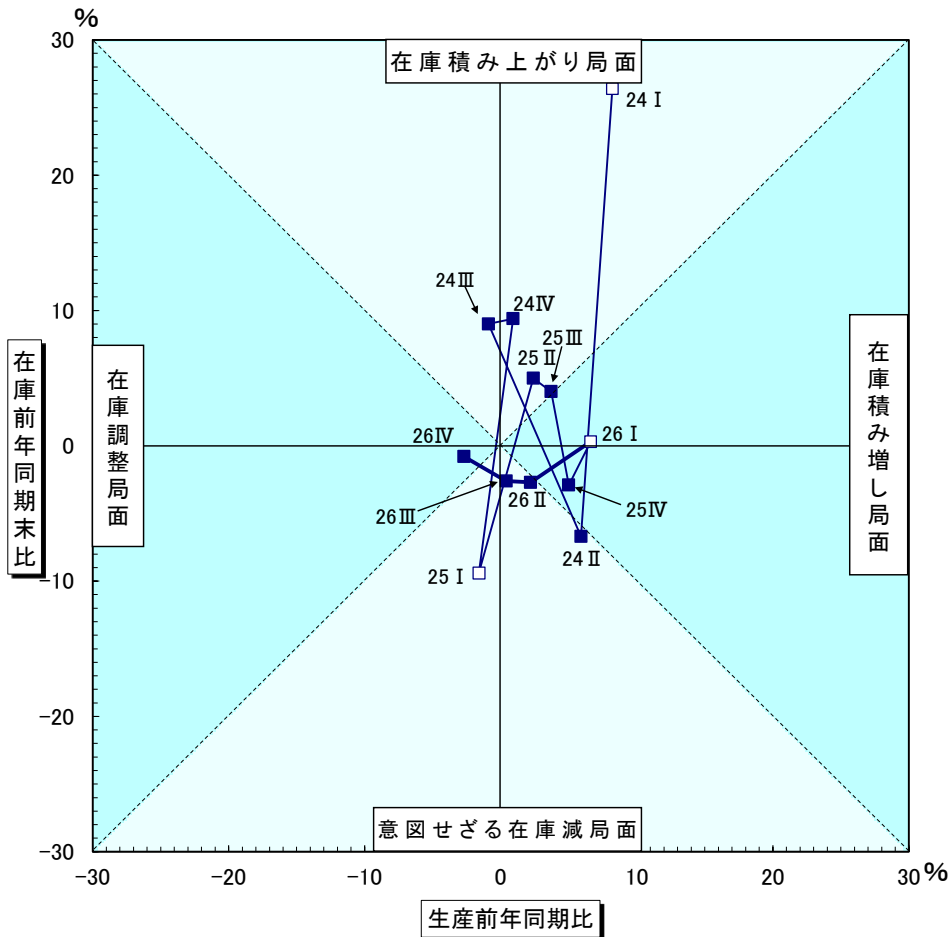


表5 生産指数と在庫指数の推移

項目	平成24年	平成25年	平成26年	平成24年				平成25年				平成26年			
				I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	99.9	102.2	103.9	105.6	95.1	98.4	100.5	103.9	97.4	102.0	105.5	110.8	99.5	102.4	102.7
前年・前年同期比	3.4	2.3	1.7	8.2	5.9	△0.9	0.9	△1.6	2.4	3.7	5.0	6.6	2.2	0.4	△2.7
(在庫指数)	123.6	120.0	119.1	131.6	121.2	124.7	123.6	119.2	127.3	129.7	120.0	119.5	123.8	126.3	119.1
前年・前年同期末比	9.4	△2.9	△0.8	26.4	△6.7	9.0	9.4	△9.4	5.0	4.0	△2.9	0.3	△2.7	△2.6	△0.8

- 注1) 年指数、四半期指数ともに、原指数である。
 2) 生産指数は各期、各年の平均値、在庫指数は期末値である。
 3) 在庫循環図は下記のような在庫局面があり、一般的には反時計回りに進むとされている。
- ・在庫調整局面
意図した水準を超えた在庫を減らして在庫調整を図る。
 - ・意図せざる在庫減局面
需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。
 - ・在庫積み増し局面
需要が供給より多くなると需要に対応しようと在庫を積み増す。
 - ・在庫積み上がり局面
供給が需要より多くなると意図した在庫水準を超え在庫が積み上がる。

2 業種分類別の動向

(1) 鉄鋼業

生産は上昇に転じ、出荷は低下した。

図11 鉄鋼業の推移 (平成22年平均=100.0)

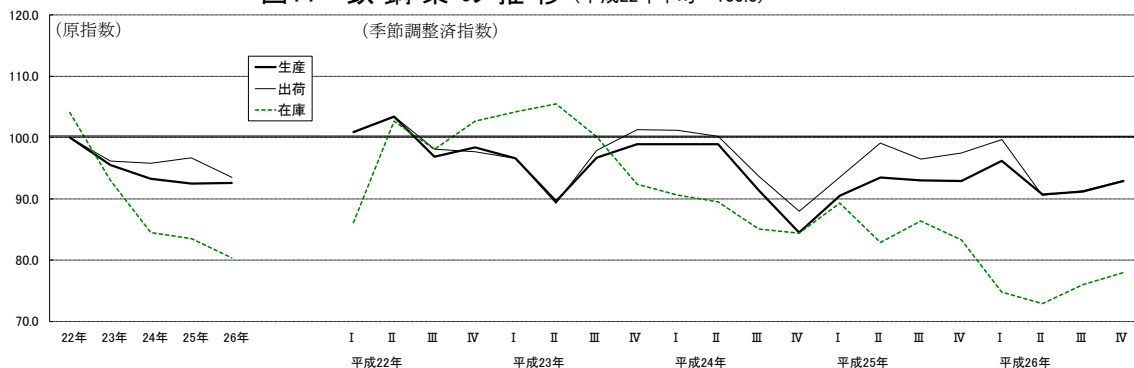


表6 鉄鋼業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	92.5	92.6	90.5	93.5	93.0	92.9	96.2	90.7	91.2	92.9
前期比	-	-	7.1	3.3	△ 0.5	△ 0.1	3.6	△ 5.7	0.6	1.9
前年・前年同期比	△ 0.9	0.1	△ 10.1	△ 5.0	2.5	10.8	9.0	△ 2.2	△ 3.4	△ 2.3
(出荷指数)	96.7	93.5	93.5	99.1	96.5	97.5	99.7	90.6	91.3	93.0
前期比	-	-	6.3	6.0	△ 2.6	1.0	2.3	△ 9.1	0.8	1.9
前年・前年同期比	0.9	△ 3.3	△ 9.2	△ 0.2	3.5	10.7	8.9	△ 8.9	△ 6.7	△ 5.5
(在庫指数)	83.5	80.4	89.3	82.9	86.4	83.3	74.8	72.9	76.0	78.0
前期末比	-	-	5.8	△ 7.2	4.2	△ 3.6	△ 10.2	△ 2.5	4.3	2.6
前年・前年同期末比	△ 1.2	△ 3.7	△ 2.3	△ 7.9	2.4	△ 1.2	△ 17.9	△ 14.0	△ 11.2	△ 3.7

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。

2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(2) 非鉄金属工業

生産、出荷はともに上昇に転じた。

図12 非鉄金属工業の推移 (平成22年平均=100.0)

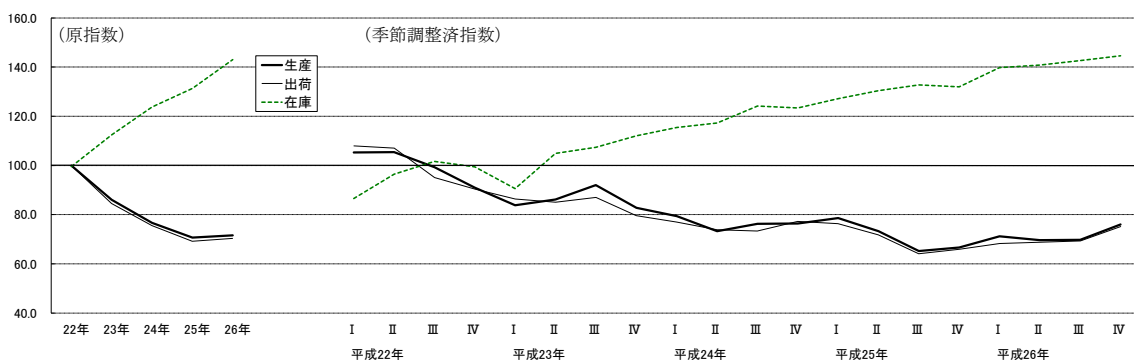


表7 非鉄金属工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	70.7	71.6	78.6	73.2	65.2	66.6	71.2	69.6	69.8	76.0
前期比	-	-	2.9	△ 6.9	△ 10.9	2.1	6.9	△ 2.2	0.3	8.9
前年・前年同期比	△ 7.7	1.3	△ 3.1	△ 0.4	△ 14.6	△ 12.4	△ 6.9	△ 5.2	5.7	12.9
(出荷指数)	69.1	70.3	76.3	71.7	64.1	65.9	68.3	68.8	69.3	75.1
前期比	-	-	△ 1.2	△ 6.0	△ 10.6	2.8	3.6	0.7	0.7	8.4
前年・前年同期比	△ 8.5	1.7	△ 2.9	△ 1.4	△ 14.7	△ 14.4	△ 8.3	△ 4.0	5.5	15.1
(在庫指数)	131.3	143.0	127.1	130.4	132.7	132.0	139.8	140.8	142.6	144.6
前期末比	-	-	3.0	2.6	1.8	△ 0.5	5.9	0.7	1.3	1.4
前年・前年同期末比	6.1	8.9	10.2	11.3	7.6	6.1	10.1	8.0	7.7	8.9

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。

2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(3) 金属製品工業 **生産、出荷はともに低下した。**

図13 金属製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

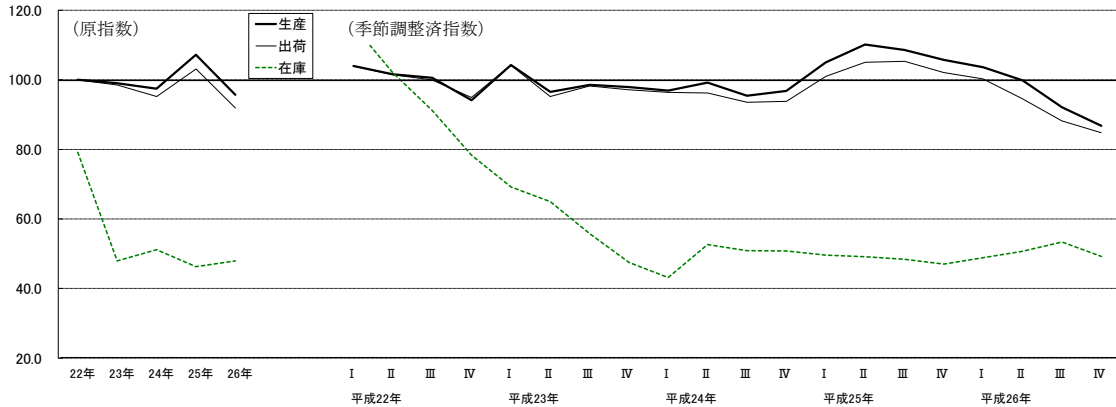


表8 金属製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	107.2	95.7	105.0	110.1	108.6	105.7	103.6	99.8	92.1	86.8
前期比	-	-	8.5	4.9	△1.4	△2.7	△2.0	△3.7	△7.7	△5.8
前年・前年同期比	10.1	△10.7	5.9	12.4	15.1	7.1	△1.4	△9.9	△15.2	△16.3
(出荷指数)	103.1	91.9	101.0	105.0	105.3	102.1	100.2	94.5	88.2	84.8
前期比	-	-	7.7	4.0	0.3	△3.0	△1.9	△5.7	△6.7	△3.9
前年・前年同期比	8.3	△10.9	2.6	10.3	14.7	6.3	△0.9	△10.9	△16.7	△14.6
(在庫指数)	46.3	47.9	49.6	49.1	48.4	47.0	48.9	50.7	53.4	49.2
前期末比	-	-	△2.4	△1.0	△1.4	△2.9	4.0	3.7	5.3	△7.9
前年・前年同期末比	△9.6	3.5	11.1	△3.9	△4.1	△9.6	△2.7	3.8	11.7	3.5

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(4) はん用機械工業 **生産、出荷はともに上昇が続いた。在庫は低下した。**

図14 はん用機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

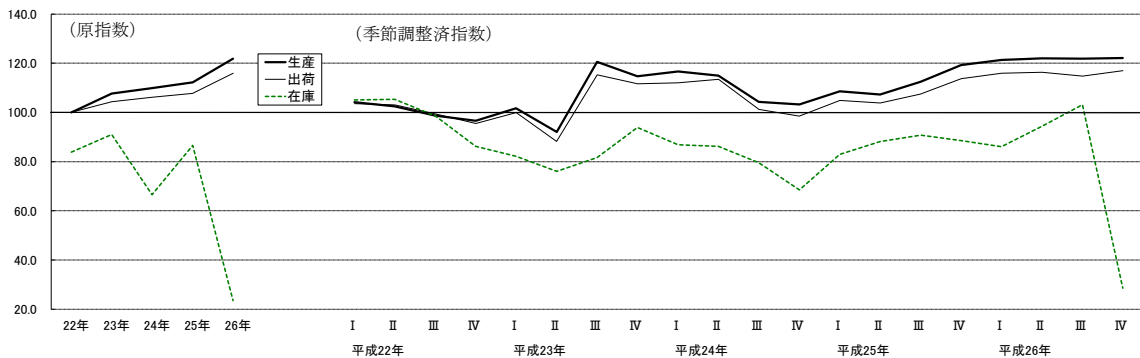


表9 はん用機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	112.2	121.9	108.6	107.3	112.5	119.2	121.4	122.0	121.9	122.1
前期比	-	-	5.1	△1.2	4.8	6.0	1.8	0.5	△0.1	0.2
前年・前年同期比	2.1	8.6	△7.9	△7.3	8.0	15.7	12.3	14.1	7.9	2.2
(出荷指数)	107.7	116.0	104.9	103.8	107.5	113.7	116.0	116.3	114.8	117.0
前期比	-	-	6.5	△1.0	3.6	5.8	2.0	0.3	△1.3	1.9
前年・前年同期比	1.4	7.7	△8.1	△8.4	6.8	15.7	11.3	12.7	5.7	2.7
(在庫指数)	86.6	23.5	82.9	88.2	90.7	88.6	86.0	94.4	103.1	28.5
前期末比	-	-	21.0	6.4	2.8	△2.3	△2.9	9.8	9.2	△72.4
前年・前年同期末比	30.0	△72.9	△3.7	3.1	14.3	30.0	△3.4	20.2	24.5	△72.9

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(5) 生産用機械工業 **生産、出荷はともに3年ぶりに上昇した。**

図15 生産用機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

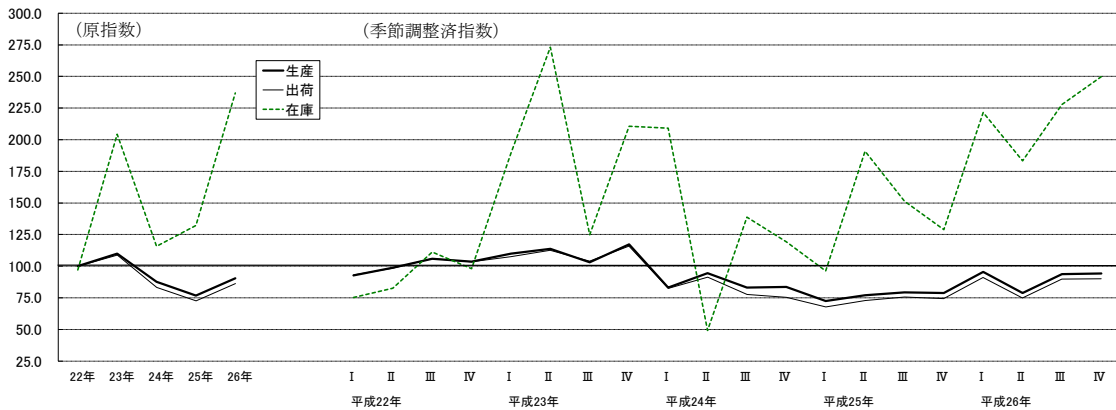


表10 生産用機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	76.9	90.4	72.4	77.1	79.4	78.9	95.6	78.8	93.8	94.2
前期比	-	-	△ 13.3	6.5	3.0	△ 0.6	21.2	△ 17.6	19.0	0.4
前年・前年同期比	△ 12.2	17.6	△ 22.0	△ 17.6	△ 5.1	△ 3.6	30.7	0.4	20.4	21.5
(出荷指数)	72.7	86.3	67.8	72.9	75.6	74.4	91.1	74.8	89.9	90.1
前期比	-	-	△ 10.1	7.5	3.7	△ 1.6	22.4	△ 17.9	20.2	0.2
前年・前年同期比	△ 12.6	18.7	△ 25.4	△ 19.7	△ 2.9	△ 0.6	32.8	1.0	21.1	23.2
(在庫指数)	132.3	236.9	96.2	190.8	151.5	129.0	221.5	183.3	227.8	249.8
前期末比	-	-	△ 19.4	98.3	△ 20.6	△ 14.9	71.7	△ 17.2	24.3	9.7
前年・前年同期末比	14.3	79.1	△ 57.3	335.9	22.9	14.3	155.9	△ 11.4	48.4	79.1

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(6) 業務用機械工業 **生産は上昇に転じ、出荷は低下が続いた。**

図16 業務用機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

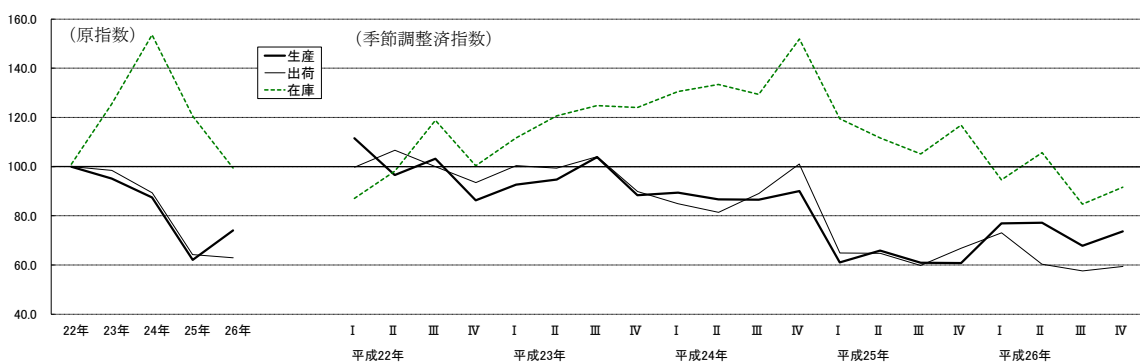


表11 業務用機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	62.1	74.0	61.0	65.9	60.9	60.8	76.9	77.2	67.8	73.7
前期比	-	-	△ 32.2	8.0	△ 7.6	△ 0.2	26.5	0.4	△ 12.2	8.7
前年・前年同期比	△ 29.0	19.2	△ 32.2	△ 25.2	△ 29.0	△ 28.7	30.7	20.9	9.2	16.3
(出荷指数)	64.2	62.9	64.9	64.8	59.8	66.8	73.1	60.3	57.6	59.4
前期比	-	-	△ 35.7	△ 0.2	△ 7.7	11.7	9.4	△ 17.5	△ 4.5	3.1
前年・前年同期比	△ 28.2	△ 2.0	△ 25.6	△ 22.9	△ 33.9	△ 28.8	18.7	△ 8.5	△ 8.2	△ 10.7
(在庫指数)	120.5	99.4	119.5	111.6	105.1	116.9	94.6	105.7	84.7	91.6
前期末比	-	-	△ 21.3	△ 6.6	△ 5.8	11.2	△ 19.1	11.7	△ 19.9	8.1
前年・前年同期末比	△ 21.5	△ 17.5	△ 8.8	△ 17.6	△ 21.4	△ 21.5	△ 22.9	△ 3.3	△ 21.4	△ 17.5

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(7) 電子部品・デバイス工業 生産、出荷はともに低下した。

図17 電子部品・デバイス工業の推移 (平成22年平均=100.0)

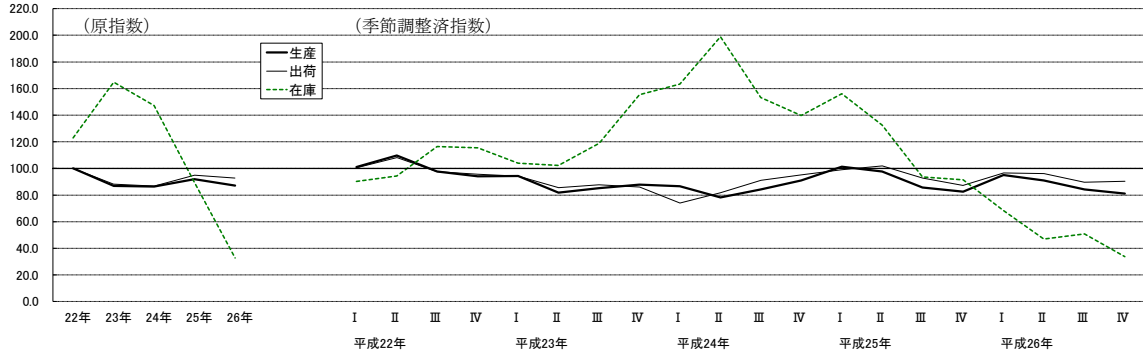


表12 電子部品・デバイス工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	91.8	87.2	101.4	97.7	85.6	82.6	95.0	91.0	84.1	81.0
前期比	-	-	11.4	△ 3.6	△ 12.4	△ 3.5	15.0	△ 4.2	△ 7.6	△ 3.7
前年・前年同期比	6.3	△ 5.0	12.8	27.8	△ 0.3	△ 9.8	△ 5.2	△ 4.9	△ 4.0	△ 6.0
(出荷指数)	94.9	92.8	99.0	101.8	92.8	87.1	96.5	96.1	89.7	90.3
前期比	-	-	4.1	2.8	△ 8.8	△ 6.1	10.8	△ 0.4	△ 6.7	0.7
前年・前年同期比	9.5	△ 2.2	25.9	26.3	2.5	△ 9.0	△ 2.3	△ 3.0	△ 5.2	1.4
(在庫指数)	89.6	32.8	156.2	132.6	93.6	91.5	68.3	47.0	50.9	33.8
前期末比	-	-	11.8	△ 15.1	△ 29.4	△ 2.2	△ 25.4	△ 31.2	8.3	△ 33.6
前年・前年同期末比	△ 39.1	△ 63.4	△ 3.6	△ 28.9	△ 42.9	△ 39.1	△ 57.4	△ 65.6	△ 44.9	△ 63.4

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(8) 電気機械工業 生産、出荷はともに低下した。

図18 電気機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

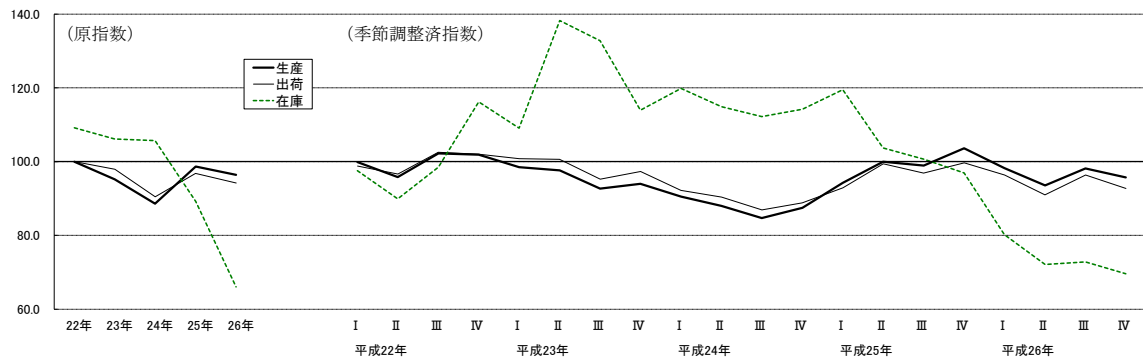


表13 電気機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	98.7	96.4	94.2	100.0	98.9	103.6	98.2	93.5	98.1	95.7
前期比	-	-	7.7	6.2	△ 1.1	4.8	△ 5.2	△ 4.8	4.9	△ 2.4
前年・前年同期比	11.4	△ 2.3	2.9	16.7	12.9	16.6	4.0	△ 8.1	0.2	△ 7.5
(出荷指数)	96.8	94.2	92.9	99.4	96.9	99.7	96.4	91.0	96.4	92.7
前期比	-	-	4.6	7.0	△ 2.5	2.9	△ 3.3	△ 5.6	5.9	△ 3.8
前年・前年同期比	7.0	△ 2.7	△ 1.1	12.8	8.6	10.7	3.4	△ 9.4	0.7	△ 7.5
(在庫指数)	89.2	66.0	119.5	103.7	100.7	96.9	80.2	72.1	72.8	69.6
前期末比	-	-	4.6	△ 13.2	△ 2.9	△ 3.8	△ 17.2	△ 10.1	1.0	△ 4.4
前年・前年同期末比	△ 15.6	△ 26.0	1.4	△ 10.8	△ 10.3	△ 15.6	△ 33.4	△ 32.1	△ 27.4	△ 26.0

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(9) 情報通信機械工業 **生産、出荷はともに3年連続で上昇した。**

図19 情報通信機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

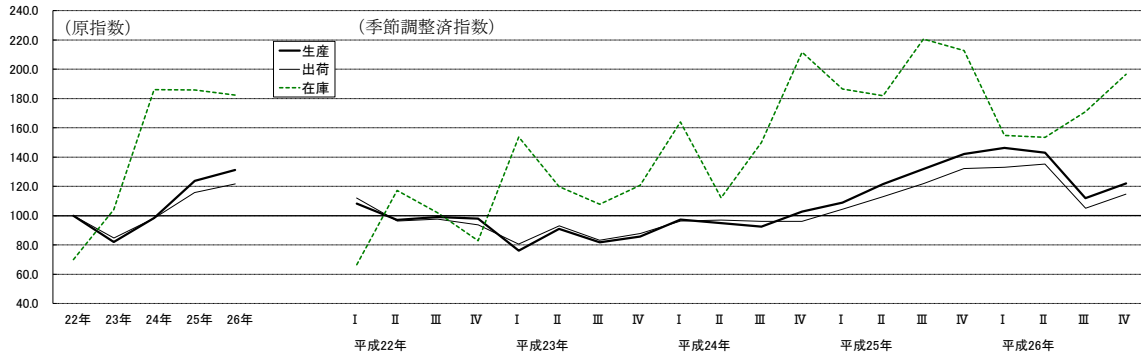


表14 情報通信機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	123.7	131.2	108.9	121.5	131.9	142.1	146.3	143.0	111.9	122.1
前期比	-	-	6.0	11.6	8.6	7.7	3.0	△ 2.3	△ 21.7	9.1
前年・前年同期比	25.6	6.1	6.6	29.6	35.7	37.8	37.7	20.5	△ 18.1	△ 14.4
(出荷指数)	115.8	121.6	104.4	112.9	121.8	132.1	133.1	135.2	105.0	114.6
前期比	-	-	8.5	8.1	7.9	8.5	0.8	1.6	△ 22.3	9.1
前年・前年同期比	17.8	5.0	1.7	16.3	21.7	38.3	30.4	21.1	△ 16.3	△ 13.4
(在庫指数)	185.8	182.4	186.4	181.9	220.7	212.8	154.7	153.4	171.0	196.5
前期末比	-	-	△ 11.9	△ 2.4	21.3	△ 3.6	△ 27.3	△ 0.8	11.5	14.9
前年・前年同期末比	△ 0.1	△ 1.8	28.5	44.3	38.8	△ 0.1	△ 23.0	△ 24.3	△ 23.6	△ 1.8

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(10) 輸送機械工業 **生産、出荷はともに3年連続で上昇した。**

図20 輸送機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

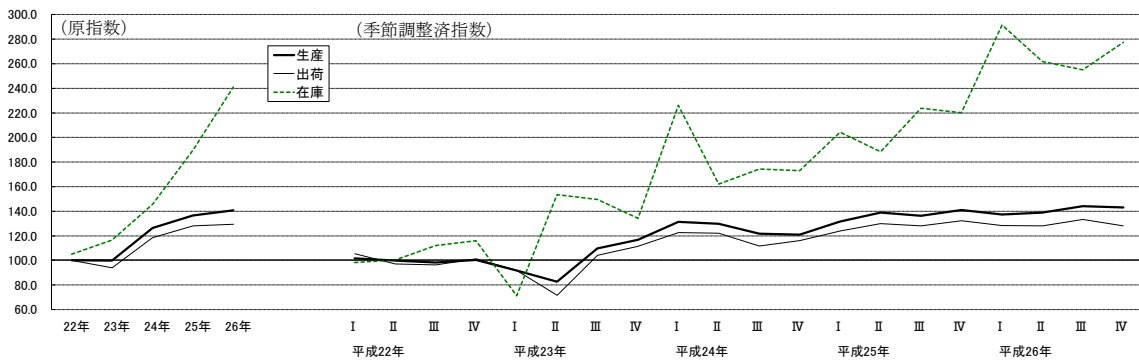


表15 輸送機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	136.7	140.8	131.7	138.8	136.2	141.1	137.3	138.9	144.0	143.1
前期比	-	-	8.9	5.4	△ 1.9	3.6	△ 2.7	1.2	3.7	△ 0.6
前年・前年同期比	8.1	3.0	△ 2.1	5.3	13.8	17.1	4.1	0.0	5.5	2.4
(出荷指数)	128.0	129.4	123.9	130.0	128.1	132.3	128.4	128.1	133.4	128.2
前期比	-	-	6.7	4.9	△ 1.5	3.3	△ 2.9	△ 0.2	4.1	△ 3.9
前年・前年同期比	7.9	1.1	△ 2.2	3.7	14.5	17.2	3.0	△ 1.6	4.8	△ 1.8
(在庫指数)	189.8	240.9	204.2	188.3	223.9	220.1	291.4	261.9	255.0	277.3
前期末比	-	-	18.0	△ 7.8	18.9	△ 1.7	32.4	△ 10.1	△ 2.6	8.7
前年・前年同期末比	30.4	26.9	△ 16.2	4.5	34.7	30.4	44.6	40.6	13.8	26.9

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(11) 窯業・土石製品工業 生産は3年ぶりに上昇し、出荷は3年連続で低下した。

図21 窯業・土石製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

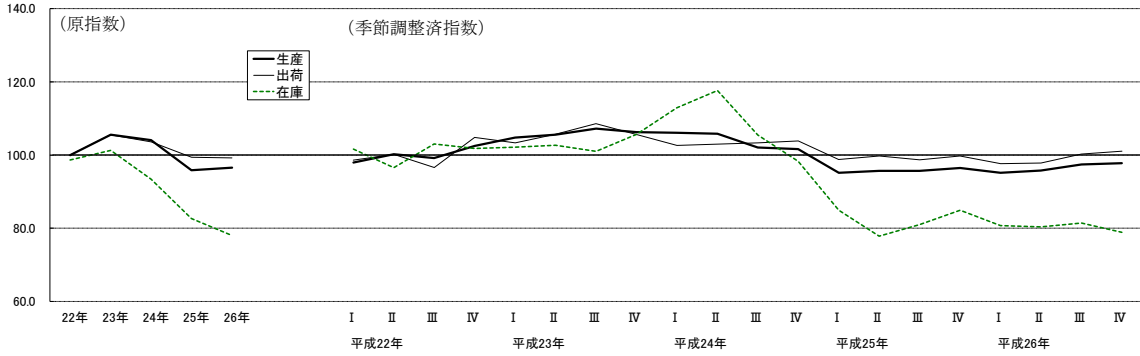


表16 窯業・土石製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	95.9	96.6	95.2	95.7	95.7	96.5	95.2	95.8	97.4	97.8
前期比	-	-	△ 6.3	0.5	0.0	0.8	△ 1.3	0.6	1.7	0.4
前年・前年同期比	△ 7.9	0.7	△ 11.4	△ 10.0	△ 5.8	△ 4.2	△ 0.3	△ 0.3	1.7	1.7
(出荷指数)	99.4	99.2	98.8	99.8	98.7	99.8	97.7	97.8	100.3	101.1
前期比	-	-	△ 4.9	1.0	△ 1.1	1.1	△ 2.1	0.1	2.6	0.8
前年・前年同期比	△ 4.1	△ 0.2	△ 4.5	△ 3.4	△ 4.7	△ 3.7	△ 2.3	△ 2.7	1.7	2.2
(在庫指数)	82.7	78.0	84.9	77.9	81.0	84.9	80.7	80.4	81.4	78.9
前期末比	-	-	△ 13.6	△ 8.2	4.0	4.8	△ 4.9	△ 0.4	1.2	△ 3.1
前年・前年同期末比	△ 11.5	△ 5.7	△ 25.7	△ 35.1	△ 24.0	△ 11.5	△ 5.7	1.9	1.1	△ 5.7

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(12) 化学工業 生産、出荷はともに3年連続で上昇した。

図22 化学工業の推移 (平成22年平均=100.0)

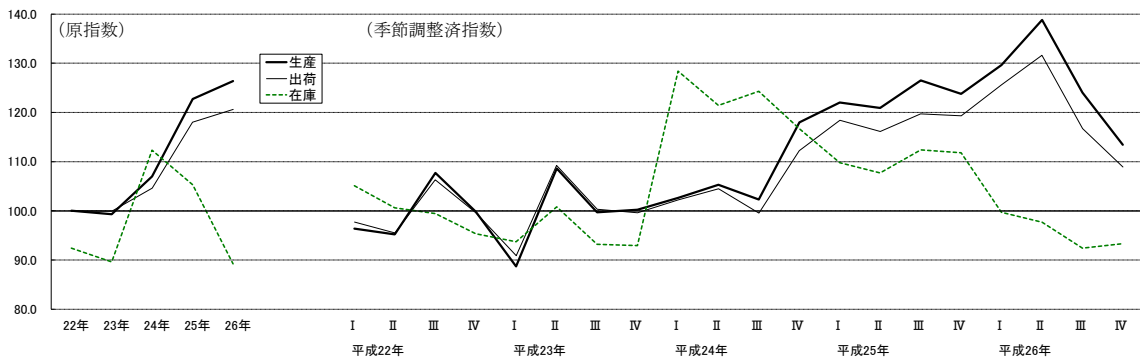


表17 化学工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	122.7	126.4	122.0	120.9	126.5	123.8	129.6	138.8	124.0	113.4
前期比	-	-	3.4	△ 0.9	4.6	△ 2.1	4.7	7.1	△ 10.7	△ 8.5
前年・前年同期比	14.7	3.0	19.9	14.8	21.6	4.9	6.7	16.7	△ 1.6	△ 8.9
(出荷指数)	118.0	120.6	118.4	116.1	119.7	119.3	125.6	131.6	116.7	108.9
前期比	-	-	5.5	△ 1.9	3.1	△ 0.3	5.3	4.8	△ 11.3	△ 6.7
前年・前年同期比	12.8	2.2	17.5	11.0	18.8	5.6	7.0	15.2	△ 2.6	△ 9.4
(在庫指数)	105.3	89.2	109.8	107.7	112.4	111.8	99.7	97.7	92.4	93.3
前期末比	-	-	△ 5.9	△ 1.9	4.4	△ 0.5	△ 10.8	△ 2.0	△ 5.4	1.0
前年・前年同期末比	△ 6.2	△ 15.3	△ 15.2	△ 10.2	△ 8.5	△ 6.2	△ 9.9	△ 10.7	△ 18.5	△ 15.3

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(13) プラスチック製品工業 **生産、出荷はともに上昇した。**

図23 プラスチック製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

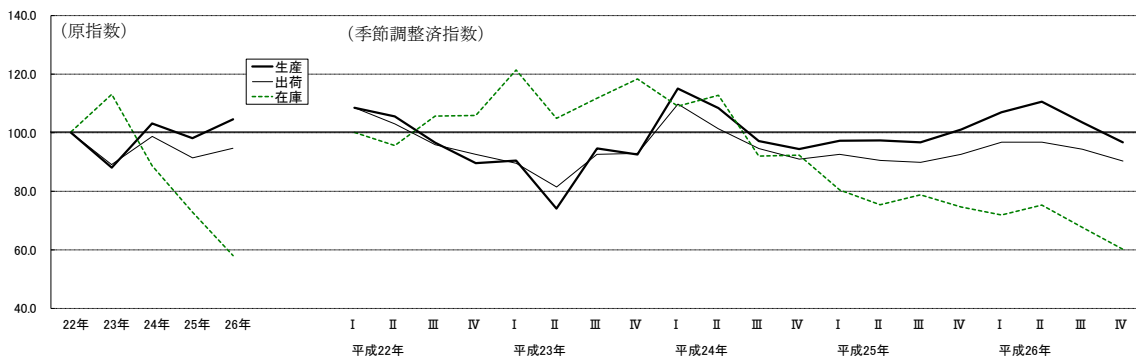


表18 プラスチック製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	98.2	104.6	97.3	97.4	96.7	101.1	107.0	110.6	103.5	96.7
前期比	-	-	3.0	0.1	△ 0.7	4.6	5.8	3.4	△ 6.4	△ 6.6
前年・前年同期比	△ 4.8	6.5	△ 13.8	△ 9.6	△ 0.6	6.3	10.4	16.1	7.3	△ 6.0
(出荷指数)	91.5	94.7	92.7	90.6	89.9	92.7	96.8	96.8	94.4	90.4
前期比	-	-	1.9	△ 2.3	△ 0.8	3.1	4.4	0.0	△ 2.5	△ 4.2
前年・前年同期比	△ 7.4	3.5	△ 14.3	△ 10.6	△ 5.1	1.7	5.3	7.4	5.2	△ 3.4
(在庫指数)	72.9	58.1	80.5	75.4	78.8	74.7	71.9	75.3	67.7	60.2
前期末比	-	-	△ 12.9	△ 6.3	4.5	△ 5.2	△ 3.7	4.7	△ 10.1	△ 11.1
前年・前年同期末比	△ 17.9	△ 20.3	△ 28.3	△ 34.6	△ 15.6	△ 17.9	△ 12.4	2.8	△ 12.3	△ 20.3

注1) 前期比及び前期末比は季節調整指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。

2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整指数である。

(14) 紙・紙加工品工業 **生産、出荷はともに3年連続で低下した。**

図24 紙・紙加工品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

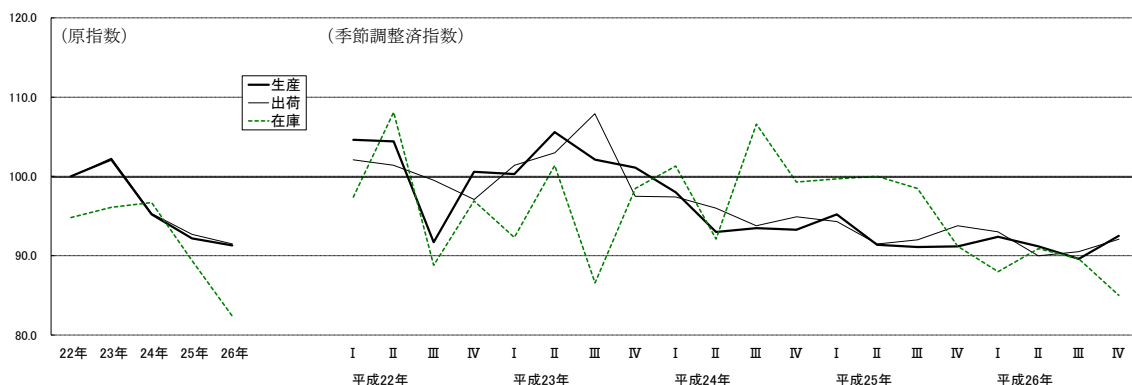


表19 紙・紙加工品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	92.2	91.3	95.2	91.4	91.1	91.2	92.4	91.2	89.6	92.5
前期比	-	-	2.0	△ 4.0	△ 0.3	0.1	1.3	△ 1.3	△ 1.8	3.2
前年・前年同期比	△ 3.2	△ 1.0	△ 3.1	△ 2.3	△ 4.1	△ 2.9	△ 1.7	△ 0.8	△ 2.6	0.7
(出荷指数)	92.7	91.5	94.3	91.5	92.0	93.8	93.0	90.0	90.5	92.1
前期比	-	-	△ 0.6	△ 3.0	0.5	2.0	△ 0.9	△ 3.2	0.6	1.8
前年・前年同期比	△ 2.7	△ 1.3	△ 3.4	△ 4.6	0.0	△ 2.5	△ 0.4	△ 1.9	△ 3.1	△ 0.1
(在庫指数)	89.4	82.4	99.7	100.0	98.5	91.2	88.0	90.9	89.6	85.0
前期末比	-	-	0.4	0.3	△ 1.5	△ 7.4	△ 3.5	3.3	△ 1.4	△ 5.1
前年・前年同期末比	△ 7.5	△ 7.8	△ 0.1	10.0	△ 5.0	△ 7.5	△ 12.8	△ 9.2	△ 8.1	△ 7.8

注1) 前期比及び前期末比は季節調整指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。

2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整指数である。

(15) 繊維工業

生産、出荷はともに上昇した。

図25 繊維工業の推移 (平成22年平均=100.0)

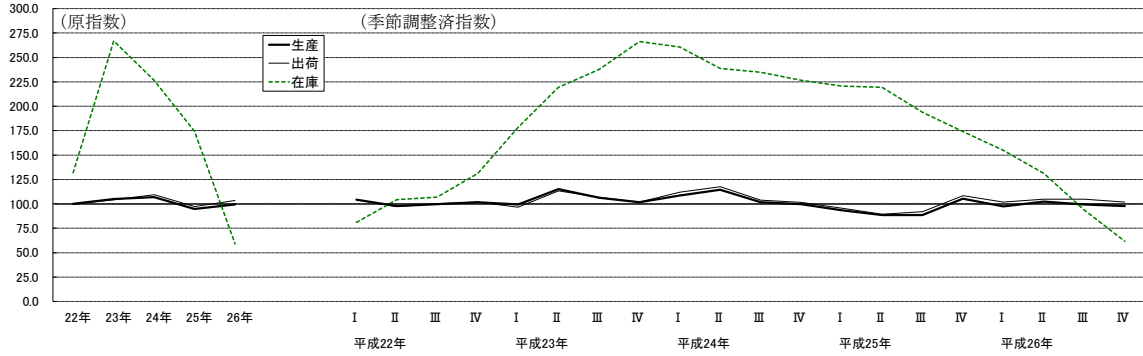


表20 繊維工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	94.8	99.3	93.4	88.6	88.6	105.2	97.4	102.5	99.4	97.8
前期比	-	-	△ 6.3	△ 5.1	0.0	18.7	△ 7.4	5.2	△ 3.0	△ 1.6
前年・前年同期比	△ 11.3	4.7	△ 13.0	△ 22.3	△ 17.4	7.7	5.8	12.1	11.4	△ 6.5
(出荷指数)	97.2	103.4	95.6	89.3	92.0	108.5	102.0	104.7	104.7	101.9
前期比	-	-	△ 6.0	△ 6.6	3.0	17.9	△ 6.0	2.6	0.0	△ 2.7
前年・前年同期比	△ 11.2	6.4	△ 13.0	△ 23.9	△ 15.8	8.4	7.8	14.5	12.4	△ 5.3
(在庫指数)	174.5	59.1	220.8	219.3	193.7	174.3	154.7	131.1	93.7	61.7
前期末比	-	-	△ 2.6	△ 0.7	△ 11.7	△ 10.0	△ 11.2	△ 15.3	△ 28.5	△ 34.2
前年・前年同期末比	△ 23.0	△ 66.1	△ 16.2	△ 6.0	△ 17.4	△ 23.0	△ 30.9	△ 37.8	△ 51.1	△ 66.1

注1) 前期比及び前期末比は季節調整指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整指数である。

(16) 食料品工業

生産、出荷はともに2年連続で低下した。

図26 食料品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

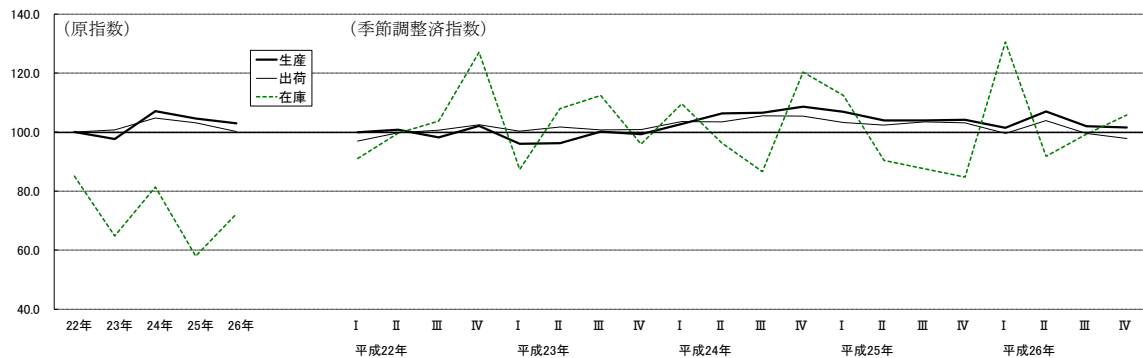


表21 食料品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	104.6	103.0	106.9	103.9	103.9	104.2	101.4	107.0	102.0	101.6
前期比	-	-	△ 1.6	△ 2.8	0.0	0.3	△ 2.7	5.5	△ 4.7	△ 0.4
前年・前年同期比	△ 2.3	△ 1.5	0.8	△ 2.6	△ 3.1	△ 3.9	△ 5.4	3.9	△ 2.1	△ 2.7
(出荷指数)	103.1	100.2	103.2	102.4	103.5	103.1	99.6	103.9	99.6	97.8
前期比	-	-	△ 2.1	△ 0.8	1.1	△ 0.4	△ 3.4	4.3	△ 4.1	△ 1.8
前年・前年同期比	△ 1.6	△ 2.8	△ 2.7	△ 0.9	△ 1.5	△ 1.8	△ 4.9	2.4	△ 3.1	△ 5.7
(在庫指数)	58.0	72.3	112.4	90.4	87.6	84.8	130.5	91.8	99.3	105.8
前期末比	-	-	△ 6.6	△ 19.6	△ 3.1	△ 3.2	53.9	△ 29.7	8.2	6.5
前年・前年同期末比	△ 28.7	24.7	8.7	△ 9.5	△ 7.0	△ 28.7	21.3	△ 3.4	7.3	24.7

注1) 前期比及び前期末比は季節調整指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整指数である。

(17) 印刷業

生産、出荷はともに2年連続で低下した。

図27 印刷業の推移 (平成22年平均=100.0)

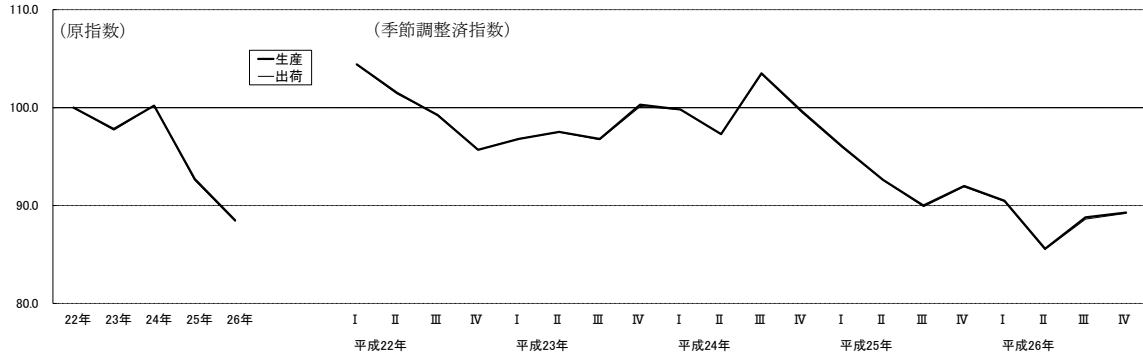


表22 印刷業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	92.7	88.5	96.0	92.6	90.0	92.0	90.5	85.6	88.8	89.3
前期比	-	-	△ 3.6	△ 3.5	△ 2.8	2.2	△ 1.6	△ 5.4	3.7	0.6
前年・前年同期比	△ 7.5	△ 4.5	△ 4.6	△ 5.1	△ 13.9	△ 6.4	△ 5.1	△ 8.4	△ 1.7	△ 2.5
(出荷指数)	92.6	88.4	95.9	92.6	89.9	91.9	90.4	85.5	88.6	89.2
前期比	-	-	△ 3.6	△ 3.4	△ 2.9	2.2	△ 1.6	△ 5.4	3.6	0.7
前年・前年同期比	△ 7.6	△ 4.5	△ 4.6	△ 5.1	△ 14.0	△ 6.6	△ 5.1	△ 8.4	△ 1.7	△ 2.5
(在庫指数)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前期末比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前年・前年同期末比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注1) 前期比は季節調整済指数、前年・前年同期比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。
 3) 印刷業は在庫把握をしていない業種である。

(18) ゴム製品工業

生産、出荷はともに低下が続いた。

図28 ゴム製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

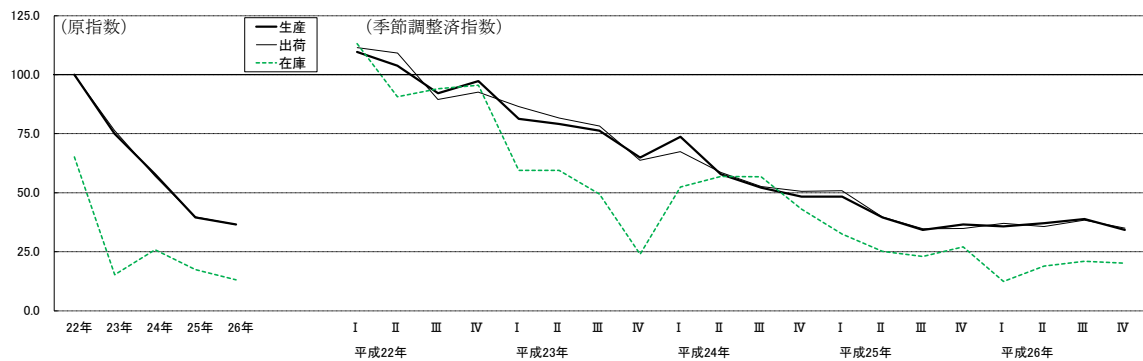


表23 ゴム製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	39.6	36.5	48.3	39.6	34.3	36.6	35.8	37.1	38.8	34.2
前期比	-	-	0.0	△ 18.0	△ 13.4	6.7	△ 2.2	3.6	4.6	△ 11.9
前年・前年同期比	△ 31.6	△ 7.8	△ 29.1	△ 35.3	△ 36.9	△ 24.8	△ 26.8	△ 7.7	13.0	△ 2.2
(出荷指数)	39.7	36.5	50.9	39.7	34.7	34.8	37.1	35.7	38.4	35.0
前期比	-	-	0.6	△ 22.0	△ 12.6	0.3	6.6	△ 3.8	7.6	△ 8.9
前年・前年同期比	△ 30.2	△ 8.1	△ 23.3	△ 31.3	△ 35.6	△ 31.8	△ 23.8	△ 12.2	10.0	△ 0.3
(在庫指数)	17.5	13.1	32.5	25.2	23.0	27.1	12.4	19.0	21.0	20.2
前期末比	-	-	△ 24.4	△ 22.5	△ 8.7	17.8	△ 54.2	53.2	10.5	△ 3.8
前年・前年同期末比	△ 32.2	△ 25.1	△ 37.5	△ 56.5	△ 60.2	△ 32.2	△ 66.1	△ 23.6	△ 0.6	△ 25.1

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(19) 皮革製品工業

生産、出荷はともに低下が続いた。

図29 皮革製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

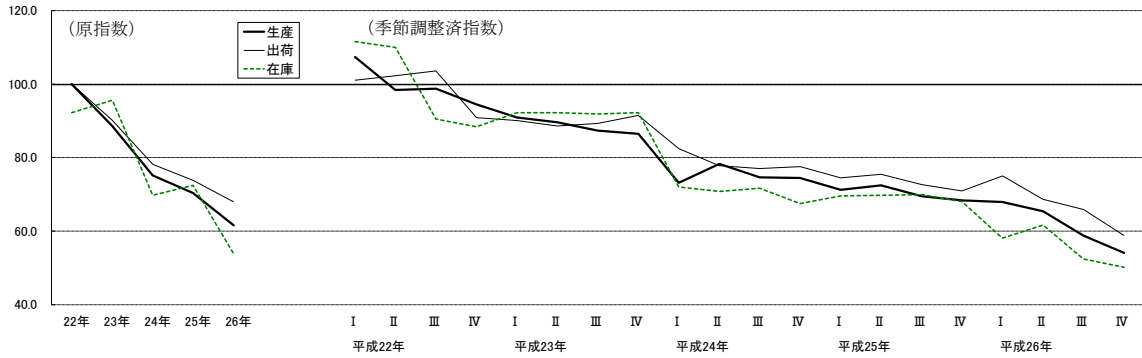


表24 皮革製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	70.4	61.6	71.2	72.5	69.5	68.4	67.9	65.4	58.8	54.1
前期比	-	-	△ 4.4	1.8	△ 4.1	△ 1.6	△ 0.7	△ 3.7	△ 10.1	△ 8.0
前年・前年同期比	△ 6.4	△ 12.5	△ 7.6	△ 6.1	△ 5.5	△ 6.0	△ 5.4	△ 7.5	△ 15.0	△ 22.6
(出荷指数)	73.8	68.0	74.5	75.5	72.7	70.9	75.0	68.7	65.9	58.8
前期比	-	-	△ 4.0	1.3	△ 3.7	△ 2.5	5.8	△ 8.4	△ 4.1	△ 10.8
前年・前年同期比	△ 5.6	△ 7.9	△ 7.7	△ 1.7	△ 4.3	△ 7.7	0.8	△ 9.4	△ 7.8	△ 18.5
(在庫指数)	72.5	53.8	69.6	69.8	69.9	68.0	58.1	61.7	52.4	50.2
前期末比	-	-	3.1	0.3	0.1	△ 2.7	△ 14.6	6.2	△ 15.1	△ 4.2
前年・前年同期末比	3.9	△ 25.8	△ 4.3	△ 2.3	△ 2.1	3.9	△ 18.2	△ 9.1	△ 25.0	△ 25.8

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(20) 家具工業

生産、出荷はともに2年連続で上昇した。

図30 家具工業の推移 (平成22年平均=100.0)

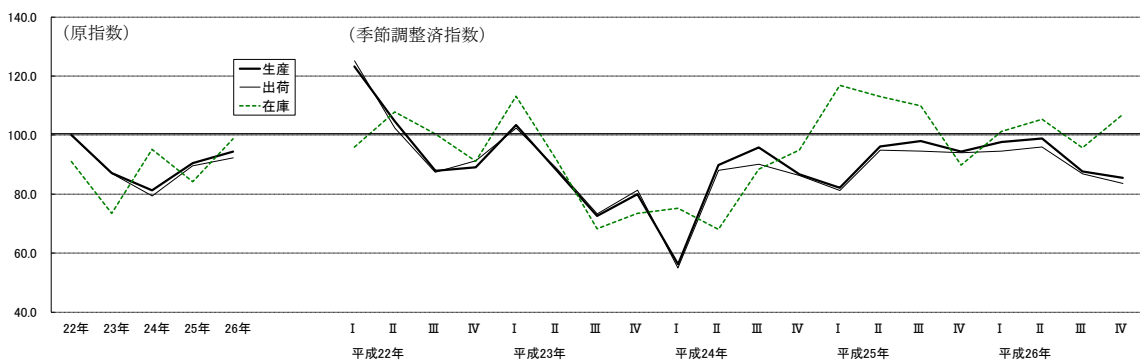


表25 家具工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	90.5	94.4	82.1	96.1	98.0	94.4	97.7	98.8	87.7	85.5
前期比	-	-	△ 5.3	17.1	2.0	△ 3.7	3.5	1.1	△ 11.2	△ 2.5
前年・前年同期比	11.3	4.3	27.4	8.9	1.2	6.1	26.1	6.1	△ 9.3	△ 13.4
(出荷指数)	89.6	92.3	81.2	94.9	94.6	94.0	94.6	96.0	86.9	83.6
前期比	-	-	△ 5.9	16.9	△ 0.3	△ 0.6	0.6	1.5	△ 9.5	△ 3.8
前年・前年同期比	12.8	3.0	29.1	9.1	2.4	8.0	22.6	4.3	△ 7.5	△ 14.8
(在庫指数)	84.2	98.7	116.9	113.1	109.9	89.9	101.2	105.4	95.7	107.0
前期末比	-	-	23.2	△ 3.3	△ 2.8	△ 18.2	12.6	4.2	△ 9.2	11.8
前年・前年同期末比	△ 11.6	17.2	64.2	64.6	30.9	△ 11.6	△ 9.8	△ 4.1	△ 14.4	17.2

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(21) 木材・木製品工業

生産、出荷はともに低下に転じた。

図31 木材・木製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

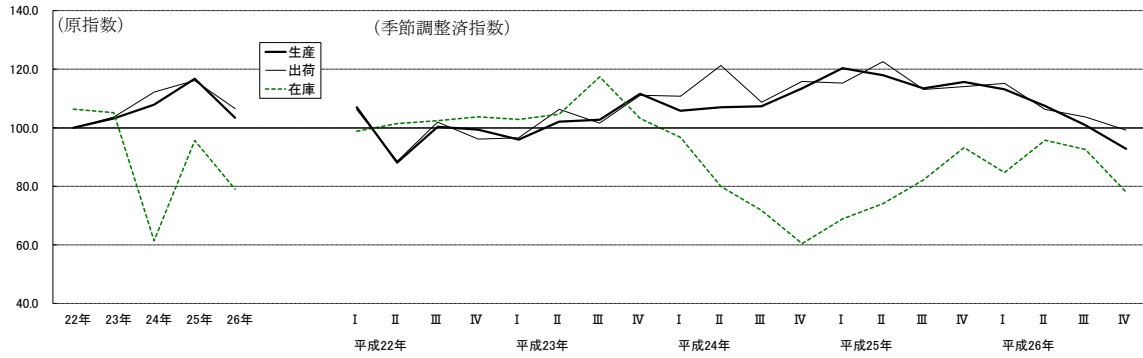


表26 木材・木製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	116.7	103.4	120.3	117.9	113.5	115.6	113.1	107.5	100.9	92.8
前期比	-	-	6.0	△ 2.0	△ 3.7	1.9	△ 2.2	△ 5.0	△ 6.1	△ 8.0
前年・前年同期比	8.2	△ 11.4	15.1	8.6	5.7	4.0	△ 4.1	△ 7.5	△ 12.9	△ 20.9
(出荷指数)	116.1	106.5	115.3	122.6	113.1	114.1	115.2	106.3	103.7	99.2
前期比	-	-	△ 0.4	6.3	△ 7.7	0.9	1.0	△ 7.7	△ 2.4	△ 4.3
前年・前年同期比	3.5	△ 8.3	7.5	5.1	2.7	△ 1.2	1.0	△ 11.8	△ 10.1	△ 13.0
(在庫指数)	95.7	79.0	68.9	74.1	82.2	93.3	84.7	95.8	92.6	78.1
前期末比	-	-	13.9	7.5	10.9	13.5	△ 9.2	13.1	△ 3.3	△ 15.7
前年・前年同期末比	55.9	△ 17.5	△ 29.7	△ 9.1	12.2	55.9	19.8	28.0	11.4	△ 17.5

注1) 前期比及び前期末比は季節調整指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整指数である。

(22) その他製品工業

生産、出荷はともに3年ぶりに上昇した。

図32 その他製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

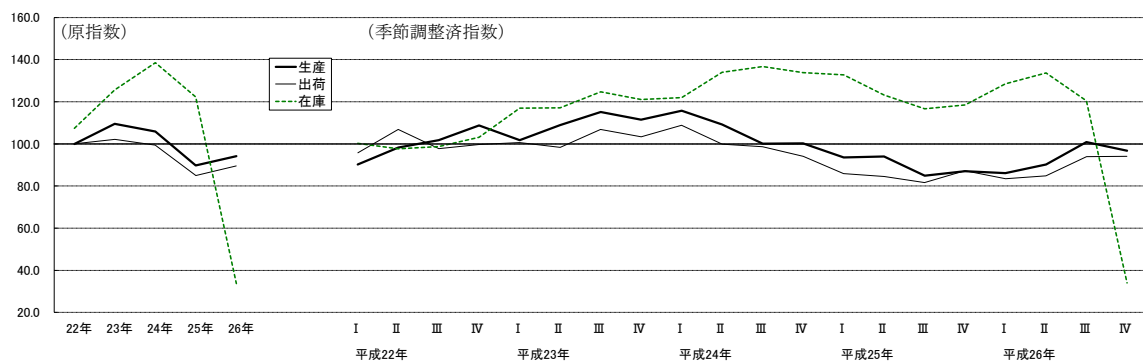


表27 その他製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	89.8	94.1	93.6	94.0	84.9	87.1	86.2	90.2	100.9	96.7
前期比	-	-	△ 6.7	0.4	△ 9.7	2.6	△ 1.0	4.6	11.9	△ 4.2
前年・前年同期比	△ 15.1	4.8	△ 19.2	△ 14.1	△ 16.3	△ 10.7	△ 10.4	△ 2.2	20.9	10.6
(出荷指数)	85.0	89.5	85.9	84.5	81.6	87.3	83.5	84.9	94.0	94.1
前期比	-	-	△ 8.7	△ 1.6	△ 3.4	7.0	△ 4.4	1.7	10.7	0.1
前年・前年同期比	△ 14.5	5.3	△ 21.6	△ 15.4	△ 16.9	△ 3.9	△ 4.3	0.8	15.7	8.5
(在庫指数)	122.3	33.8	132.7	123.2	116.6	118.5	128.5	133.6	120.4	34.0
前期末比	-	-	△ 0.8	△ 7.2	△ 5.4	1.6	8.4	4.0	△ 9.9	△ 71.8
前年・前年同期末比	△ 11.7	△ 72.4	9.8	△ 8.1	△ 16.0	△ 11.7	△ 11.0	10.5	11.9	△ 72.4

注1) 前期比及び前期末比は季節調整指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整指数である。

3 特殊分類別の動向

(1) 資本財 生産、出荷はともに3年連続で上昇した。

図33 資本財の推移 (平成22年平均=100.0)

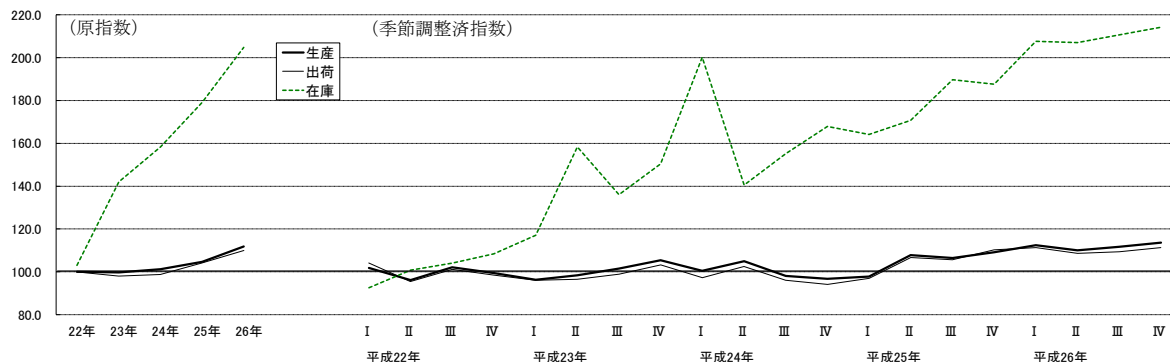


表28 資本財の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	104.7	111.8	97.8	107.8	106.4	109.2	112.4	110.0	111.7	113.6
前期比	-	-	1.1	10.2	△ 1.3	2.6	2.9	△ 2.1	1.5	1.7
前年・前年同期比	3.5	6.8	△ 6.7	2.9	7.0	13.3	14.8	2.5	5.4	3.6
(出荷指数)	104.1	109.9	97.0	106.7	105.6	110.2	111.3	108.6	109.3	111.3
前期比	-	-	3.1	10.0	△ 1.0	4.4	1.0	△ 2.4	0.6	1.8
前年・前年同期比	5.4	5.6	△ 4.5	3.4	7.8	17.8	14.3	3.2	3.5	0.3
(在庫指数)	179.1	204.8	164.2	170.8	189.7	187.7	207.6	207.0	210.7	214.2
前期末比	-	-	△ 2.2	4.0	11.1	△ 1.1	10.6	△ 0.3	1.8	1.7
前年・前年同期末比	13.1	14.3	△ 19.1	16.2	21.3	13.1	30.8	20.4	12.0	14.3

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。

2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(2) 建設財 生産、出荷はともに上昇が続いた。

図34 建設財の推移 (平成22年平均=100.0)

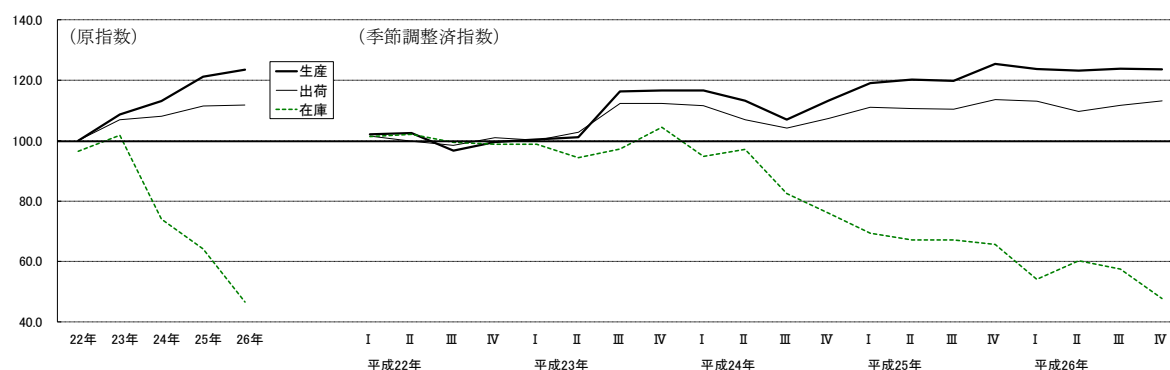


表29 建設財の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	121.2	123.5	119.1	120.2	119.8	125.4	123.7	123.2	123.8	123.6
前期比	-	-	5.2	0.9	△ 0.3	4.7	△ 1.4	△ 0.4	0.5	△ 0.2
前年・前年同期比	7.2	1.9	0.6	6.6	11.1	10.6	5.0	1.9	2.7	△ 1.5
(出荷指数)	111.5	111.8	111.1	110.6	110.4	113.6	113.1	109.7	111.7	113.2
前期比	-	-	3.4	△ 0.5	△ 0.2	2.9	△ 0.4	△ 3.0	1.8	1.3
前年・前年同期比	3.1	0.3	△ 2.1	3.7	5.7	5.5	3.0	△ 2.0	0.4	△ 0.2
(在庫指数)	64.2	46.6	69.4	67.1	67.1	65.7	54.1	60.2	57.5	47.7
前期末比	-	-	△ 8.7	△ 3.3	0.0	△ 2.1	△ 17.7	11.3	△ 4.5	△ 17.0
前年・前年同期末比	△ 13.2	△ 27.4	△ 27.4	△ 31.5	△ 19.8	△ 13.2	△ 25.0	△ 8.9	△ 11.1	△ 27.4

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。

2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(3) 耐久消費財

生産は3年ぶりに低下し、出荷は2年連続で低下した。

図35 耐久消費財の推移 (平成22年平均=100.0)

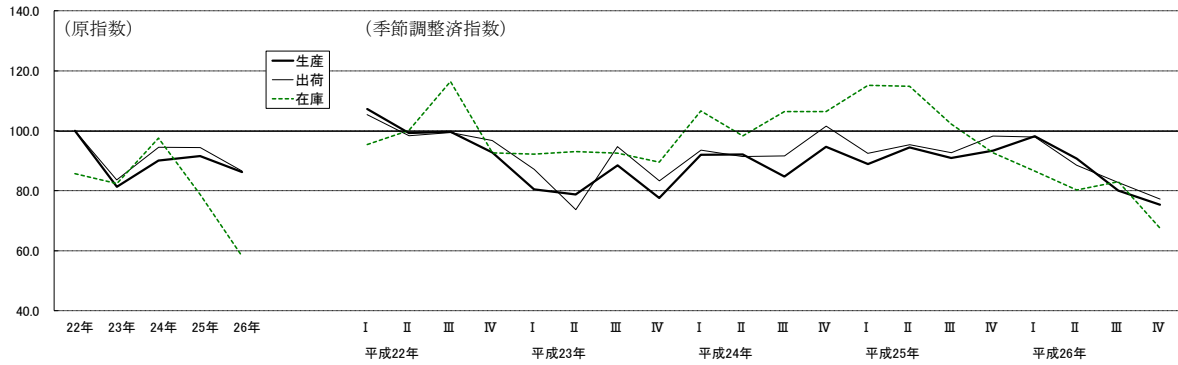


表30 耐久消費財の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	91.6	86.2	88.9	94.4	90.9	93.4	98.2	90.7	80.0	75.3
前期比	-	-	△ 6.1	6.2	△ 3.7	2.8	5.1	△ 7.6	△ 11.8	△ 5.9
前年・前年同期比	1.7	△ 5.9	△ 4.2	2.9	7.7	1.2	12.3	△ 1.4	△ 14.2	△ 19.8
(出荷指数)	94.4	86.6	92.5	95.4	92.7	98.2	97.9	88.5	82.8	77.2
前期比	-	-	△ 9.0	3.1	△ 2.8	5.9	△ 0.3	△ 9.6	△ 6.4	△ 6.8
前年・前年同期比	△ 0.1	△ 8.3	△ 7.4	1.1	3.8	2.5	8.2	△ 7.4	△ 12.1	△ 20.7
(在庫指数)	78.8	58.1	115.2	114.9	102.2	92.6	86.5	80.3	83.0	67.5
前期末比	-	-	8.3	△ 0.3	△ 11.1	△ 9.4	△ 6.6	△ 7.2	3.4	△ 18.7
前年・前年同期末比	△ 19.3	△ 26.3	11.7	19.2	△ 2.9	△ 19.3	△ 24.3	△ 33.6	△ 17.1	△ 26.3

注1) 前期比及び前期末比は季節調整指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整指数である。

(4) 非耐久消費財

生産は3年ぶりに低下し、出荷は低下に転じた。

図36 非耐久消費財の推移 (平成22年平均=100.0)

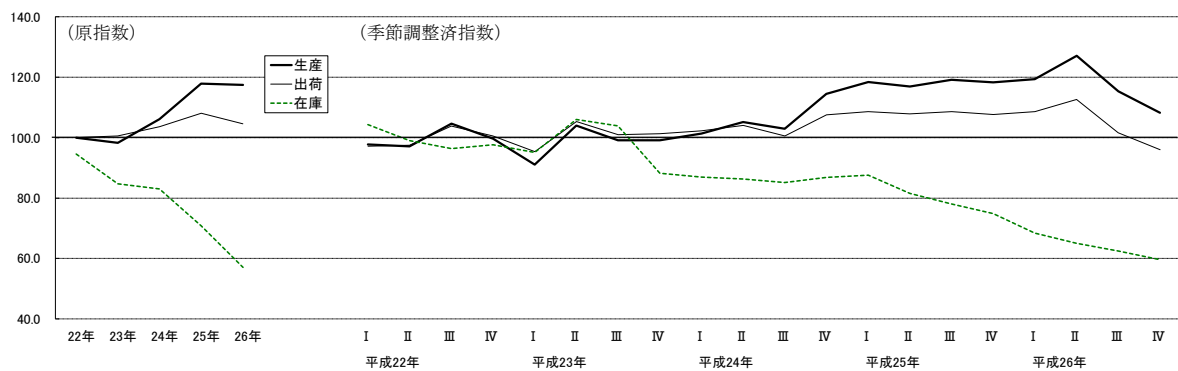


表31 非耐久消費財の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	117.9	117.5	118.4	116.9	119.2	118.3	119.4	127.1	115.4	108.2
前期比	-	-	3.4	△ 1.3	2.0	△ 0.8	0.9	6.4	△ 9.2	△ 6.2
前年・前年同期比	11.1	△ 0.3	16.7	11.0	14.7	3.7	1.5	10.7	△ 3.4	△ 9.6
(出荷指数)	108.1	104.6	108.6	107.9	108.6	107.7	108.6	112.7	101.6	96.0
前期比	-	-	0.9	△ 0.6	0.6	△ 0.8	0.8	3.8	△ 9.8	△ 5.5
前年・前年同期比	4.3	△ 3.2	6.1	3.9	7.8	0.0	△ 0.3	6.3	△ 6.7	△ 11.5
(在庫指数)	70.8	57.1	87.6	81.5	78.1	74.9	68.4	65.0	62.5	59.6
前期末比	-	-	0.9	△ 7.0	△ 4.2	△ 4.1	△ 8.7	△ 5.0	△ 3.8	△ 4.6
前年・前年同期末比	△ 14.7	△ 19.4	3.7	△ 5.9	△ 8.6	△ 14.7	△ 23.6	△ 20.4	△ 19.7	△ 19.4

注1) 前期比及び前期末比は季節調整指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整指数である。

(5) 鉱工業用生産財 生産、出荷はともに3年連続で上昇した。

図37 鉱工業用生産財の推移 (平成22年平均=100.0)

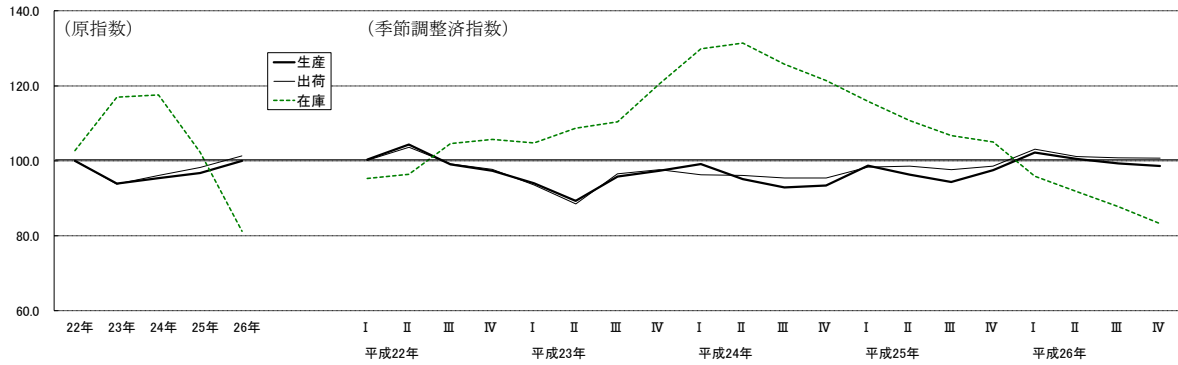


表32 鉱工業用生産財の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成 25 年				平成 26 年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	96.7	100.0	98.7	96.3	94.3	97.5	102.2	100.5	99.3	98.6
前期比	-	-	5.7	△ 2.4	△ 2.1	3.4	4.8	△ 1.7	△ 1.2	△ 0.7
前年・前年同期比	1.4	3.4	△ 1.4	0.6	1.4	4.8	4.8	4.4	4.3	0.3
(出荷指数)	98.2	101.3	98.3	98.6	97.6	98.6	103.1	101.1	100.8	100.7
前期比	-	-	3.0	0.3	△ 1.0	1.0	4.6	△ 1.9	△ 0.3	△ 0.1
前年・前年同期比	2.2	3.2	△ 0.1	1.9	2.8	4.0	5.8	3.0	2.4	1.2
(在庫指数)	102.3	81.2	115.9	110.7	106.7	105.0	95.9	91.8	87.8	83.2
前期末比	-	-	△ 4.5	△ 4.5	△ 3.6	△ 1.6	△ 8.7	△ 4.3	△ 4.4	△ 5.2
前年・前年期末比	△ 13.0	△ 20.6	△ 11.4	△ 15.7	△ 15.6	△ 13.0	△ 17.4	△ 17.6	△ 18.1	△ 20.6

注1) 前期比及び前期末比は季節調整指数、前年・前年同期比及び前年・前年期末比は原指数で計算している。
2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整指数である。

(6) その他用生産財 生産、出荷はともに2年連続で低下した。

図38 その他用生産財の推移 (平成22年平均=100.0)

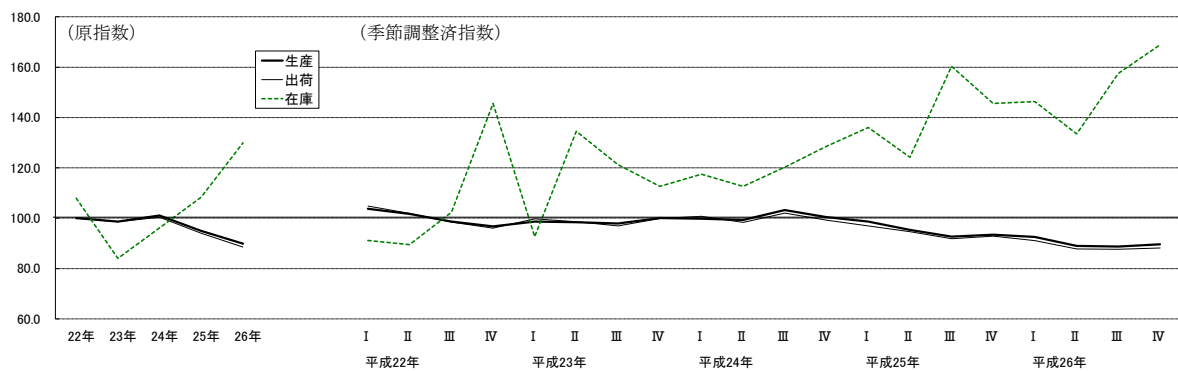


表33 その他用生産財の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成25年	平成26年	平成 25 年				平成 26 年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	95.0	89.9	98.7	95.3	92.7	93.5	92.5	89.0	88.8	89.6
前期比	-	-	△ 1.8	△ 3.4	△ 2.7	0.9	△ 1.1	△ 3.8	△ 0.2	0.9
前年・前年同期比	△ 6.0	△ 5.4	△ 3.3	△ 3.8	△ 10.2	△ 6.6	△ 6.0	△ 6.9	△ 4.4	△ 4.0
(出荷指数)	94.0	88.6	96.9	94.6	91.9	92.9	91.1	87.8	87.7	88.2
前期比	-	-	△ 2.3	△ 2.4	△ 2.9	1.1	△ 1.9	△ 3.6	△ 0.1	0.6
前年・前年同期比	△ 6.4	△ 5.7	△ 4.4	△ 3.6	△ 10.8	△ 6.1	△ 5.8	△ 7.8	△ 4.8	△ 4.7
(在庫指数)	108.3	129.9	136.1	124.2	160.3	145.6	146.4	133.5	157.5	168.9
前期末比	-	-	5.9	△ 8.7	29.1	△ 9.2	0.5	△ 8.8	18.0	7.2
前年・前年期末比	12.7	19.9	17.0	4.5	38.5	12.7	7.5	0.8	0.8	19.9

注1) 前期比及び前期末比は季節調整指数、前年・前年同期比及び前年・前年期末比は原指数で計算している。
2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整指数である。

4 東京都と全国の動向

(1) 工業指数の年、四半期別推移

ア 生産指数

東京都と全国の平成26年の生産指数(原指数)の動向を比べると、東京都が前年比1.7%の上昇、全国は前年比2.1%の上昇となった。

業種分類別の寄与度を比べると、東京都で上昇に寄与したのは生産用機械工業(0.8%)、業務用機械工業(0.6%)、輸送機械工業(0.6%)などであった。

一方、全国で上昇に寄与したのは生産用機械工業(1.2%)、電子部品・デバイス工業(0.7%)などであった。

平成26年の四半期別指数(季節調整済指数)は、東京都では、第1四半期に上昇した後、第4四半期まで連続して低下した。

全国では、第1四半期に上昇した後、第2、3四半期に連続して低下したが、第4四半期は上昇した。

(図39、表34)

図39 東京都と全国の生産指数の推移(平成22年平均=100.0)

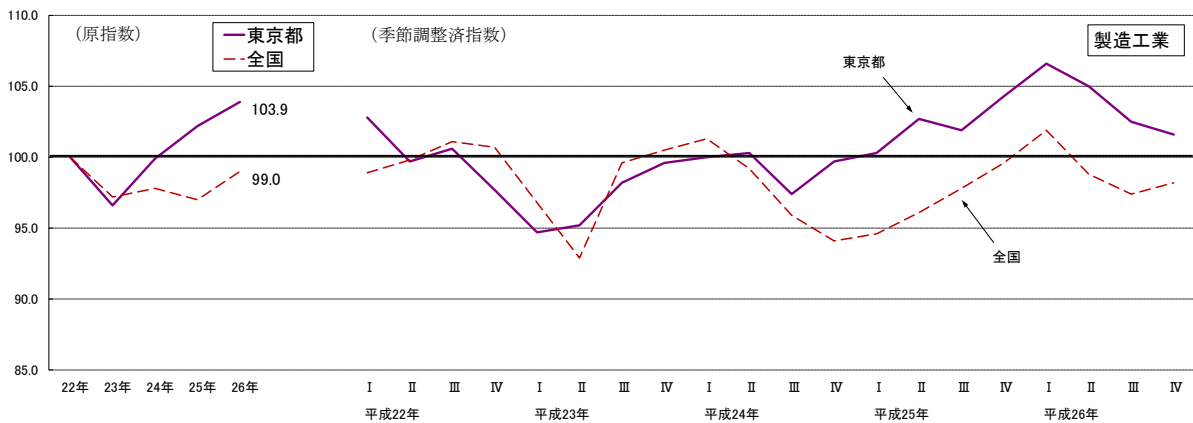


表34 平成26年 東京都と全国の生産指数対前年比の業種分類別寄与度

(単位%)

区分 業種	ウェイト		寄与度		区分 業種	ウェイト		寄与度	
	東京都	全国	東京都	全国		東京都	全国	東京都	全国
製造工業(全体)	10000.0	9978.9	1.7	2.1	化学工業	882.2	1277.4	0.3	△0.2
鉄鋼業	135.0	391.1	0.0	0.0	石油・石炭製品工業	-	175.8	-	△0.1
非鉄金属工業	109.2	232.5	0.0	0.0	プラスチック製品工業	182.6	507.5	0.1	0.0
金属製品工業	319.0	418.1	△0.4	△0.1	紙・紙加工品工業	77.4	203.6	△0.0	0.0
はん用機械工業	279.0	418.6	0.3	0.3	繊維工業	115.3	183.4	0.1	△0.0
生産用機械工業	620.7	701.2	0.8	1.2	食料品工業	713.8	613.9	△0.1	△0.1
業務用機械工業	477.2	153.3	0.6	0.1	印刷業	1380.9	197.1	△0.6	△0.0
電子部品・デバイス工業	483.0	818.6	△0.2	0.7	ゴム製品工業	236.9	161.0	△0.1	△0.0
電気機械工業	1314.4	667.7	△0.3	0.1	皮革製品工業	79.2	9.1	△0.1	△0.0
情報通信機械工業	692.9	453.4	0.5	△0.3	家具工業	128.2	67.3	0.0	△0.0
輸送機械工業	1383.2	1912.4	0.6	0.2	木材・木製品工業	28.1	58.4	△0.0	△0.0
窯業・土石製品工業	166.0	315.8	0.0	0.1	その他製品工業	195.8	41.7	0.1	0.0

注1) 石油・石炭製品工業は東京都では採用していない。

注2) 全国の輸送機械工業は、東京都との比較のため「輸送機械工業(除. 船舶・同機関、鉄道車両、航空機)」の指数を使用している。このため、全国の製造工業の数値と各業種ごとの合計とは一致しない場合がある。

注3) 全国のウェイトは鉱工業全体から鉱業の分を除いており、各業種ごとの合計(=製造工業)が10000にならない。

イ 出荷指数

東京都と全国の平成26年の出荷指数(原指数)の動向を比べると、東京都が前年比0.3%上昇、全国は前年比1.3%の上昇となった。

業種分類別の寄与度を比べると、東京都で上昇に寄与したのは生産用機械工業(0.7%)、情報通信機械工業(0.6%)などであった。

一方、全国で上昇に寄与したのは生産用機械工業(0.9%)、電子部品・デバイス工業(0.7%)などであった。

平成26年の四半期別指数(季節調整済指数)は、東京都では、第1四半期に上昇した後、第4四半期まで連続して低下した。

全国では、第1四半期に上昇した後、第2、3四半期に連続して低下したが、第4四半期は上昇した。

(図40、表35)

図40 東京都と全国の出荷指数の推移(平成22年平均=100.0)

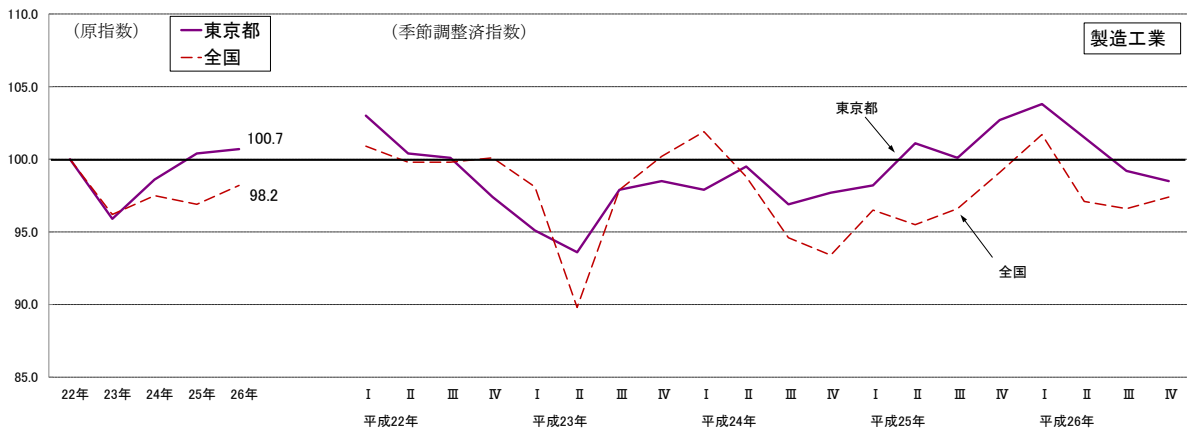


表35 平成26年 東京都と全国の出荷指数対前年比の業種分類別寄与度

(単位%)

区 分	ウエイト		寄与度		区 分	ウエイト		寄与度	
	東京都	全 国	東京都	全 国		業 種	東京都	全 国	東京都
製 造 工 業 (全 体)	10000.0	9985.7	0.3	1.3	化 学 工 業	539.1	1040.9	0.1	△ 0.3
鉄 鋼 業	199.1	638.7	△ 0.1	0.1	石 油 ・ 石 炭 製 品 工 業	-	624.8	-	△ 0.2
非 鉄 金 属 工 業	139.1	322.5	0.0	0.1	プ ラ ス チ ッ ク 製 品 工 業	218.7	421.2	0.1	0.0
金 属 製 品 工 業	284.5	366.7	△ 0.3	△ 0.0	紙 ・ 紙 加 工 品 工 業	91.3	212.2	△ 0.0	△ 0.0
は ん 用 機 械 工 業	254.0	360.2	0.2	0.3	織 維 工 業	89.0	133.4	0.1	△ 0.0
生 産 用 機 械 工 業	520.5	571.4	0.7	0.9	食 料 品 工 業	657.0	579.3	△ 0.2	△ 0.1
業 務 用 機 械 工 業	408.8	154.0	△ 0.1	0.0	印 刷 業	1404.2	68.1	△ 0.6	△ 0.0
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 工 業	555.7	711.1	△ 0.1	0.7	ゴ ム 製 品 工 業	167.0	126.7	△ 0.1	0.0
電 気 機 械 工 業	1301.2	570.5	△ 0.3	0.1	皮 革 製 品 工 業	78.2	8.3	△ 0.0	△ 0.0
情 報 通 信 機 械 工 業	992.2	489.5	0.6	△ 0.2	家 具 工 業	117.1	54.7	0.0	0.0
輸 送 機 械 工 業	1584.2	2218.9	0.2	0.0	木 材 ・ 木 製 品 工 業	22.1	57.4	△ 0.0	△ 0.0
窯 業 ・ 土 石 製 品 工 業	123.9	221.6	△ 0.0	0.0	そ の 他 製 品 工 業	253.1	33.6	0.1	0.0

注1) 石油・石炭製品工業は東京都では採用していない。

注2) 全国の輸送機械工業は、東京都との比較のため「輸送機械工業(除. 船舶・同機関、鉄道車両、航空機)」の指数を使用している。このため、全国の製造工業の数値と各業種ごとの合計とは一致しない場合がある。

注3) 全国のウエイトは鉱工業全体から鉱業の分を除いており、各業種ごとの合計(=製造工業)が10000にならない。

ウ 在庫指数

東京都と全国の平成26年の在庫指数（原指数）の動向を比べると、東京都が前年末比0.8%低下、全国が前年末比6.2%上昇となった。

業種分類別の寄与度を比べると、東京都で低下に寄与したのは、その他製品工業（△2.9%）、業務用機械工業（△2.4%）などであった。

一方、全国で上昇に寄与したのは、輸送機械工業（3.9%）、生産用機械工業（0.7%）、などであった。

平成26年の四半期別指数（季節調整済指数）は、東京都では第1四半期に上昇した後、第2四半期は低下、第3四半期は上昇、第4四半期は低下となった。

全国では、第4四半期まで4期連続で上昇となった。

（図41、表36）

図41 東京都と全国の在庫指数の推移（平成22年平均=100.0）

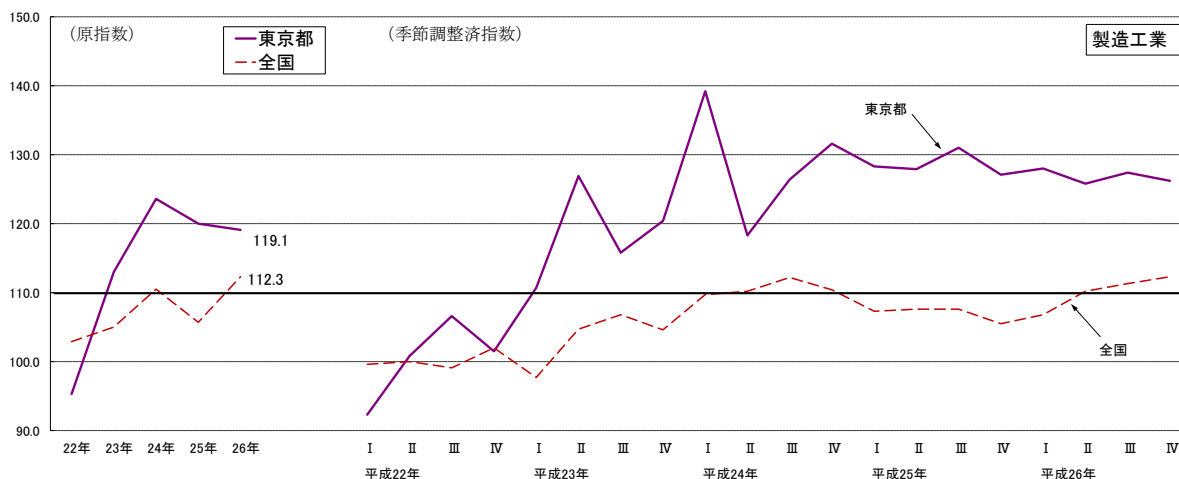


表36 平成26年 東京都と全国の在庫指数対前年比の業種分類別寄与度

（単位 %）

区 分	ウエイト		寄与度		区 分	ウエイト		寄与度	
	業 種	東京都	全 国	東京都		全 国	業 種	東京都	全 国
製造工業（全体）	10000.0	9988.1	△ 0.8	6.2	化学工業	656.1	1413.1	△ 0.9	△ 0.0
鉄 鋼 業	254.2	1382.7	△ 0.1	△ 0.8	石油・石炭製品工業	-	497.5	-	0.1
非鉄金属工業	196.6	306.5	0.3	0.4	プラスチック製品工業	484.1	661.4	△ 0.6	0.0
金属製品工業	462.7	435.0	0.1	△ 0.1	紙・紙加工品工業	135.7	340.3	△ 0.1	0.2
はん用機械工業	296.6	244.1	△ 1.0	0.3	織 維 工 業	178.7	421.3	△ 1.7	0.2
生産用機械工業	709.6	682.6	6.2	0.7	食 料 品 工 業	133.6	326.5	0.2	0.3
業務用機械工業	1351.8	200.4	△ 2.4	△ 0.1	印 刷 業	-	-	-	-
電子部品・デバイス工業	308.2	368.3	△ 1.5	0.3	ゴ ム 製 品 工 業	443.7	141.2	△ 0.2	△ 0.0
電気機械工業	677.1	371.0	△ 1.3	0.6	皮 革 製 品 工 業	255.8	19.3	△ 0.4	△ 0.0
情報通信機械工業	1211.4	234.2	△ 0.3	△ 0.0	家 具 工 業	111.0	100.9	0.1	△ 0.0
輸送機械工業	1384.9	1013.1	5.9	3.9	木 材 ・ 木 製 品 工 業	30.0	126.4	△ 0.0	0.1
窯業・土石製品工業	322.3	643.2	△ 0.1	0.3	そ の 他 製 品 工 業	395.9	59.1	△ 2.9	△ 0.1

注1) 石油・石炭製品工業は東京都では採用していない。

注2) 全国の輸送機械工業は、東京都との比較のため「輸送機械工業（除、船舶・同機関、鉄道車両、航空機）」の指数を使用している。このため、全国の製造工業の数値と各業種ごとの合計とは一致しない場合がある。

注3) 全国のウエイトは鉱工業全体から鉱業の分を除いており、各業種ごとの合計（＝製造工業）が10000にならない。

(2) 工業指数(季節調整済指数)の月別推移(平成17年から平成26年まで)

ア 生産指数

東京都の生産指数は、平成17年12月に同年以後では最も高い127.5を示した後、平成20年11月から急激な低下が始まり、平成21年4月に最も低い81.8となった。

その後、平成22年3月の104.2をピークに、低下、上昇を繰り返した。平成23年3月には大幅に低下し88.0となったが、以後、100.0前後で低下、上昇を繰り返した後、平成24年10月から上昇傾向となり、平成26年1月と3月に107.3になった。その後は低下傾向となり、平成26年12月に99.7となった。

全国では、平成19年10月に同年以後では最も高い117.5を示した後、平成20年11月から急激な低下が始まり、平成21年2月には最も低い76.6となった。

その後、100.0を超えるまで上昇したが、平成23年3月には大幅に低下し85.8となった。以後、再び100.0前後まで上昇し、平成24年5月以降は90台で推移したが、平成25年は上昇傾向となり、平成26年1月に103.2となった。その後は低下傾向となり、平成26年12月に98.1となった。

(図42、表37)

イ 出荷指数

東京都の出荷指数は、平成17年1月に同年以後では最も高い122.2を示した後、平成20年11月から急激な低下が始まり、平成21年4月には平成19年以来最も低い79.5となった。

その後、平成22年3月の104.5まで上昇した後、100.0前後で推移したが、平成23年3月には大幅な低下となり88.0となった。以後、低下、上昇を繰り返し、平成25年8月以降は上昇し、平成26年1月に103.9になった。その後は低下傾向となり、平成26年12月に97.0となった。

全国では、平成19年12月と平成20年1月に平成19年以後では最も高い118.3を示した後、平成20年11月から急激な低下が始まり、平成21年2月には最も低い79.1となった。

その後、100.0を超えるまで上昇したが、平成23年4月には84.2まで低下した。以後、再び100.0前後で、低下、上昇を繰り返し、平成24年5月以降は90台で推移したが、平成25年7月以降は上昇傾向となり、平成26年1月に102.9となった。その後は低下傾向となり、平成26年12月に97.1となった。

(図43、表37)

ウ 在庫指数

東京都の在庫指数は、平成19年7月に平成17年以後では最も高い140.4を示し、その後、概ね130台で推移した。平成21年1月から低下が始まり、平成22年3月には平成19年以来最も低い92.3となり、以降、上昇、低下を繰り返しながら平成24年まで上昇傾向、平成25年以後は概ね130近辺で推移し、平成26年12月に126.2となった。

全国では、平成20年12月に最も高い119.9を示した後、低下し、100.0前後で推移した。その後、平成23年3月には最も低い97.7まで低下した後、平成24年後半まで上昇傾向、平成25年末まで低下傾向、平成26年は上昇傾向となり、平成26年12月に112.3となった。

(図44、表37)

参考：米国投資銀行リーマン・ブラザーズ破綻(平成20年9月15日)

東日本大震災(平成23年3月11日)

日本銀行の「量的・質的金融緩和」導入(平成25年4月)

消費税増税、税率5%から8%に(平成26年4月)

注：図42～44では、製造業に影響を及ぼす要因の一つとして考えられる為替相場の推移を参考として示した。為替相場は日本銀行「東京市場(ドル・円スポット 17時時点/月末)」による。

図 42 東京都と全国（製造工業）の生産指数の推移（平成 22 年平均=100.0）

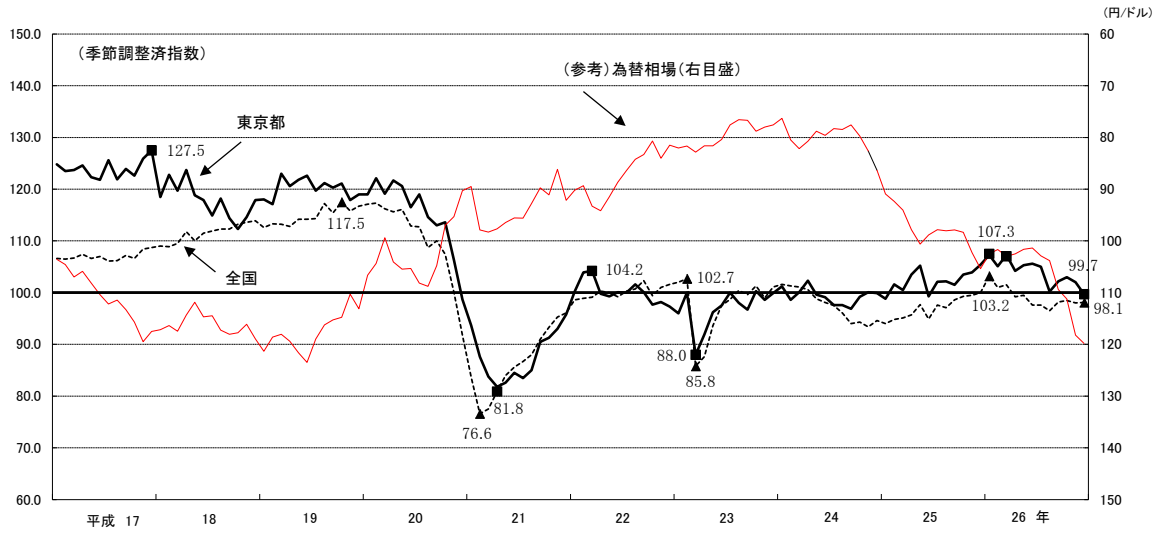


図 43 東京都と全国（製造工業）の出荷指数の推移（平成 22 年平均=100.0）

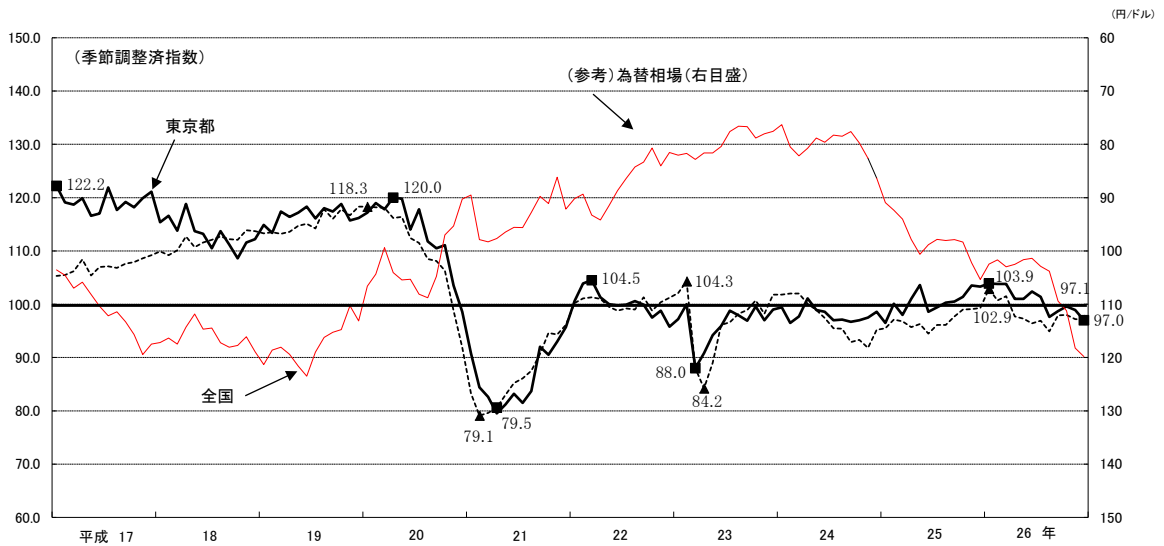


図 44 東京都と全国（製造工業）の在庫指数の推移（平成 22 年平均=100.0）

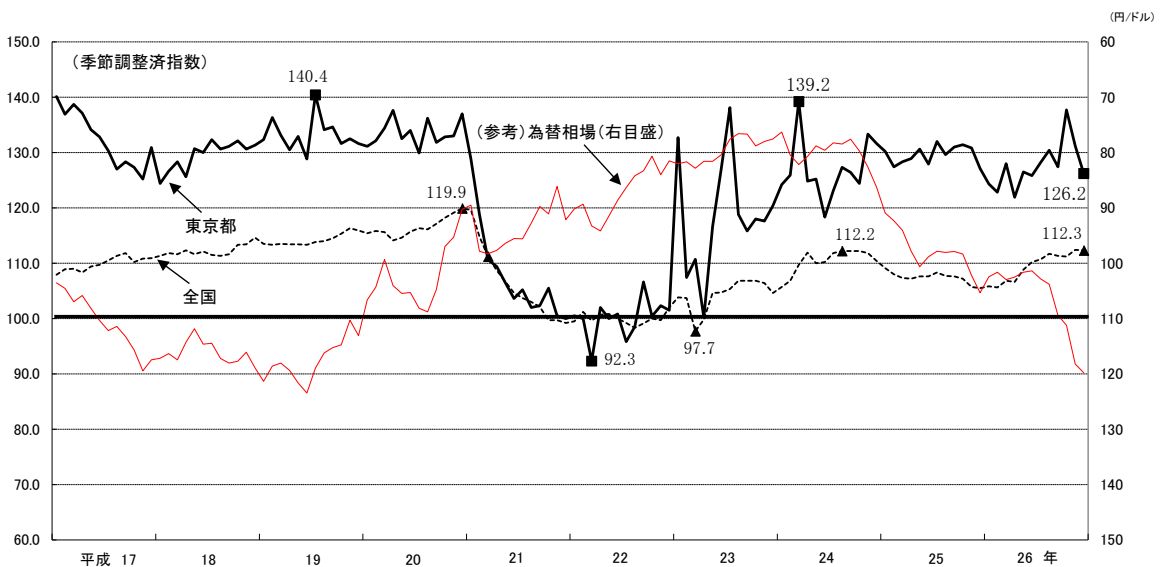


表37 工業指数の月別推移

(季節調整済指数、平成22年平均＝100.0)

年 月	製造工業						(参考) 為替相場	年 月	製造工業						(参考) 為替相場
	生産指数		出荷指数		在庫指数				生産指数		出荷指数		在庫指数		
	東京都	全国	東京都	全国	東京都	全国			東京都	全国	東京都	全国	東京都	全国	
平成	(円/ドル)							平成	(円/ドル)						
17年 1月	124.8	106.6	122.2	105.3	140.1	107.9	103.6	22年 1月	100.2	98.6	100.6	100.2	100.5	99.5	90.2
2月	123.5	106.5	119.1	105.5	136.9	108.9	104.6	2月	103.9	98.9	103.9	101.1	100.0	101.2	89.3
3月	123.7	106.7	118.7	106.2	138.7	109.0	107.0	3月	104.2	99.1	104.5	101.3	92.3	99.6	93.3
4月	124.6	107.4	119.9	108.4	137.1	108.3	105.9	4月	99.8	100.3	101.3	101.0	102.0	100.7	94.2
5月	122.3	106.6	116.6	105.4	134.1	109.4	108.2	5月	99.3	100.0	100.0	99.5	100.0	100.8	91.5
6月	121.8	107.0	117.0	107.0	132.8	109.7	110.4	6月	100.1	99.2	99.8	98.8	100.8	100.0	88.7
7月	125.6	106.1	121.9	107.1	130.3	110.5	112.2	7月	100.0	100.3	99.9	99.2	95.8	99.2	86.4
8月	121.9	106.2	117.7	106.8	127.0	111.3	111.4	8月	101.6	100.7	100.6	99.0	98.5	98.3	84.2
9月	123.9	107.2	119.2	107.6	128.3	111.8	113.3	9月	100.1	102.3	99.9	101.3	106.6	99.1	83.3
10月	122.6	106.6	118.2	107.9	127.3	110.2	115.7	10月	97.7	99.4	97.5	98.8	100.4	100.0	80.7
11月	125.9	108.4	119.9	108.6	125.2	110.8	119.5	11月	98.2	101.0	98.8	100.4	102.3	99.7	84.0
12月	127.5	108.7	121.1	109.2	130.9	110.9	117.5	12月	97.3	101.6	95.8	101.2	101.5	102.0	81.5
18年 1月	118.5	109.0	115.4	109.9	124.4	111.3	117.2	23年 1月	96.0	102.0	97.2	102.1	132.7	103.8	82.0
2月	122.8	108.9	116.6	109.2	126.6	111.8	116.4	2月	100.0	102.7	100.0	104.3	107.4	103.7	81.7
3月	119.7	109.5	113.8	110.1	128.3	111.6	117.5	3月	88.0	85.8	88.0	88.0	110.7	97.7	82.8
4月	123.7	111.8	118.8	112.7	125.6	112.3	114.3	4月	91.9	87.6	90.8	84.2	100.2	99.8	81.6
5月	118.8	110.0	113.7	110.7	130.7	111.6	111.9	5月	96.2	93.6	94.2	89.0	116.6	104.6	81.6
6月	117.9	111.5	113.2	111.6	130.0	112.1	114.7	6月	97.5	97.5	95.9	96.1	126.9	104.7	80.4
7月	114.9	111.9	110.5	112.1	132.3	111.5	114.5	7月	100.0	98.7	98.8	96.6	138.1	105.3	77.6
8月	118.2	112.3	113.7	112.7	130.6	111.3	117.2	8月	98.0	100.4	97.9	98.2	118.8	106.8	76.6
9月	114.4	112.3	111.2	112.2	131.1	111.6	118.1	9月	96.7	99.6	96.9	98.9	115.8	106.8	76.7
10月	112.3	113.2	108.6	112.1	132.1	113.3	117.7	10月	100.3	101.3	99.6	100.7	118.0	106.8	78.8
11月	114.6	113.6	111.6	113.9	130.6	113.4	116.1	11月	98.6	99.0	97.0	98.2	117.6	106.4	78.0
12月	117.9	113.9	112.2	113.7	131.3	114.6	118.9	12月	99.9	101.1	99.0	101.8	120.4	104.6	77.6
19年 1月	118.0	112.6	114.9	113.3	132.3	113.5	121.3	24年 1月	101.2	101.6	99.4	101.8	124.2	105.7	76.3
2月	117.1	113.3	113.4	113.5	136.3	113.3	118.6	2月	98.6	101.3	96.5	102.0	125.9	106.8	80.5
3月	123.0	113.2	117.4	113.2	133.1	113.5	118.1	3月	100.1	101.1	97.7	102.0	139.2	109.7	82.2
4月	120.6	112.8	116.4	113.6	130.5	113.4	119.4	4月	102.3	100.6	101.1	100.1	124.8	111.9	80.7
5月	121.8	114.2	117.2	114.7	132.9	113.4	121.6	5月	99.6	98.8	98.9	98.9	125.2	110.0	78.8
6月	122.6	114.2	118.3	115.1	128.8	113.3	123.5	6月	99.1	98.1	98.6	97.4	118.3	110.2	79.6
7月	119.7	114.3	116.1	114.2	140.4	113.8	119.0	7月	97.6	97.5	97.0	95.5	123.1	111.8	78.3
8月	121.2	117.2	118.0	117.8	134.1	114.0	116.2	8月	97.6	96.1	97.1	95.4	127.3	112.2	78.5
9月	120.3	115.4	117.4	116.0	134.6	114.5	115.3	9月	96.9	94.0	96.7	92.9	126.4	112.2	77.6
10月	121.1	117.5	118.8	117.8	131.6	115.3	114.8	10月	99.2	94.3	97.0	93.3	124.4	112.2	79.7
11月	117.9	115.8	115.7	116.7	132.5	116.3	110.3	11月	100.1	93.4	97.5	91.8	133.3	111.8	82.6
12月	119.0	116.7	116.2	118.3	131.6	115.9	113.1	12月	99.9	94.6	98.6	95.2	131.6	110.4	86.3
20年 1月	119.0	117.1	117.2	118.3	131.1	115.4	106.6	25年 1月	98.8	94.0	96.5	95.5	130.2	109.1	90.9
2月	122.1	117.3	119.0	118.2	132.1	115.8	104.3	2月	101.6	94.8	100.1	97.1	127.4	108.0	92.4
3月	119.1	116.2	117.8	118.1	134.4	115.6	99.4	3月	100.5	95.1	98.0	96.8	128.3	107.3	94.0
4月	121.7	115.6	120.0	116.2	137.6	114.1	104.1	4月	103.5	95.7	101.0	95.7	128.9	107.2	97.8
5月	120.6	116.1	119.8	116.4	132.5	114.6	105.5	5月	105.2	97.7	103.6	96.3	130.6	107.6	100.6
6月	116.5	112.9	114.0	112.4	134.0	115.7	105.3	6月	99.3	94.9	98.6	94.5	127.9	107.6	98.8
7月	119.0	112.7	117.8	111.5	129.9	116.3	108.1	7月	102.1	97.6	99.4	96.1	132.0	108.3	97.9
8月	114.6	108.7	111.8	108.5	136.2	116.1	108.8	8月	102.2	97.1	100.3	96.1	129.6	107.7	98.1
9月	113.0	110.0	110.5	108.1	131.8	117.1	104.8	9月	101.5	98.6	100.5	97.7	131.0	107.6	97.9
10月	113.6	107.4	111.1	106.3	132.8	118.2	97.0	10月	103.5	99.3	101.4	99.0	131.4	107.2	98.3
11月	106.3	100.1	103.5	98.8	133.0	119.1	95.3	11月	103.9	99.5	103.5	99.1	130.8	105.7	102.2
12月	98.7	91.8	98.6	91.9	137.0	119.9	90.3	12月	105.4	100.0	103.3	99.3	127.1	105.5	105.4
21年 1月	93.7	83.7	90.8	83.3	128.8	119.6	89.5	26年 1月	107.3	103.2	103.9	102.9	124.3	105.8	102.5
2月	87.6	76.6	84.4	79.1	118.8	114.8	97.9	2月	105.1	101.0	103.8	100.7	122.8	105.6	101.7
3月	83.8	77.5	82.6	79.6	110.6	111.2	98.3	3月	107.3	101.5	103.8	101.5	128.0	106.8	103.0
4月	81.8	80.9	79.5	80.6	109.4	108.7	97.7	4月	104.2	99.2	101.0	97.7	121.9	106.6	102.5
5月	82.6	84.0	81.2	83.0	106.5	106.7	96.5	5月	105.3	99.5	101.0	97.3	126.5	108.8	101.6
6月	84.5	85.6	83.2	85.2	103.6	104.6	95.6	6月	105.6	97.6	102.4	96.4	125.8	110.2	101.4
7月	83.5	86.7	81.5	86.1	105.2	103.7	95.6	7月	105.0	97.6	101.4	96.9	128.2	110.7	102.9
8月	85.0	88.0	83.7	87.5	102.0	103.0	92.8	8月	100.2	96.5	97.6	94.9	130.4	111.7	103.8
9月	90.5	91.0	92.0	90.7	102.3	102.1	89.8	9月	102.2	98.2	98.7	97.9	127.4	111.3	109.4
10月	91.3	93.3	90.5	94.6	105.5	99.7	91.1	10月	103.0	98.5	99.6	98.0	137.7	111.2	111.2
11月	93.0	95.3	93.0	94.3	100.5	99.7	86.2	11月	102.0	98.0	98.9	97.2	131.2	112.4	118.2
12月	95.8	96.1	95.7	96.1	100.0	99.2	92.1	12月	99.7	98.1	97.0	97.1	126.2	112.3	119.8

注) 為替相場の出典は、日本銀行「金融経済統計月報」の「東京市場(ドル・円スポット 17時時点/月末)」である。